



神奈川県
川崎図書館

平成27年度 要覧



科学と産業の情報ライブラリー
神奈川県立川崎図書館

基 本 理 念

神奈川県立の図書館は

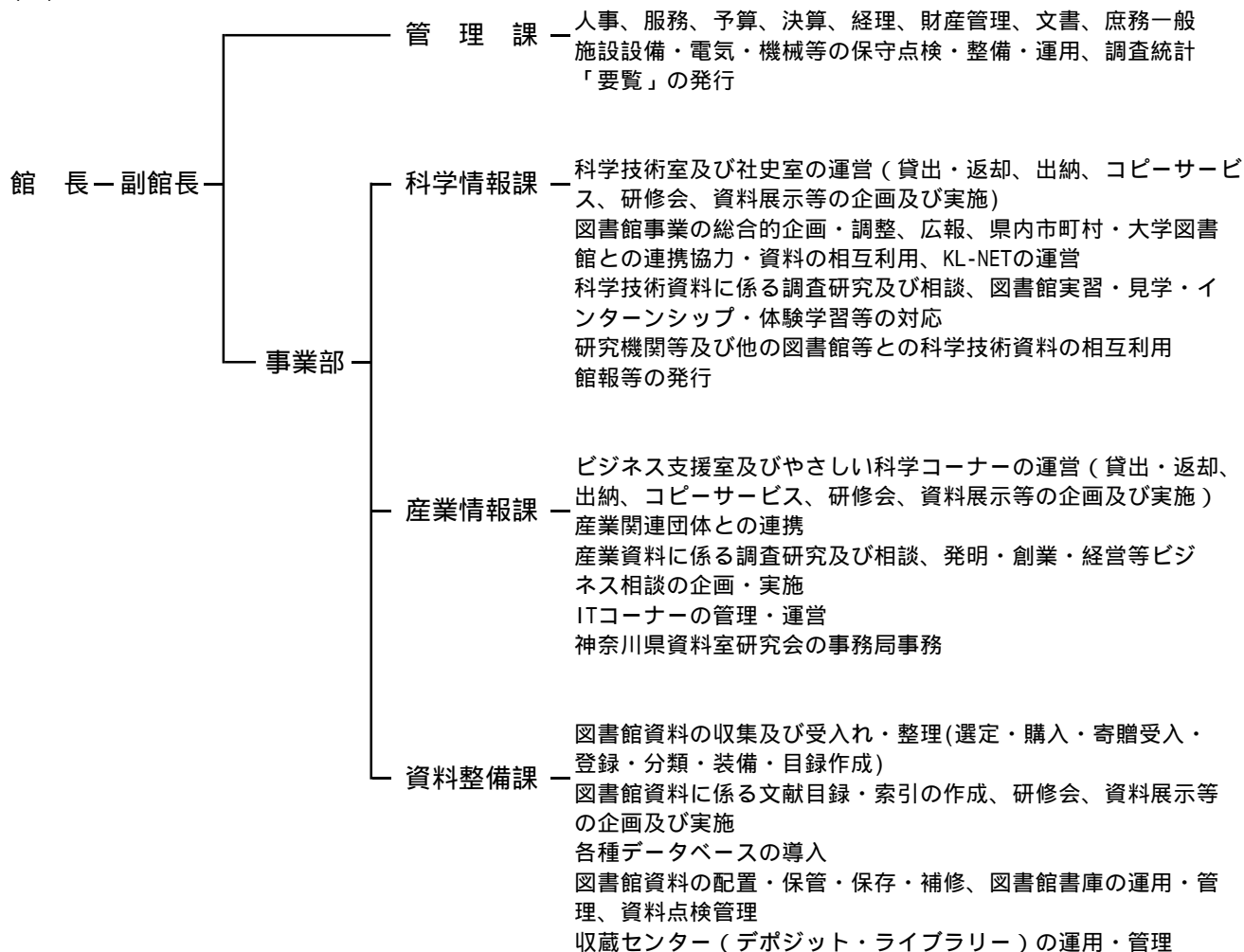
「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、
神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

目 次

1	組 織	1
2	沿 革	2
3	施設の概要	3
4	平成27年度 県立川崎図書館の取り組み	4
5	平成27年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画	6
6	予算・決算	7
7	平成26年度 事業の概況	8
8	平成26年度 講座等実施状況	22
9	平成26年度 県立川崎図書館の活動評価	32
事 業 統 計		
第 1 表	部門別蔵書冊数	35
第 2 表	逐次刊行物保有状況	35
第 3 表	CD-ROM保有状況	35
第 4 表	視聴覚資料保有状況	36
第 5 表	開館日数・入館者数	36
第 6 表	レファレンス件数・協力レファレンス件数	36
第 7 表	書庫内資料利用数	37
第 8 表	データベース利用数	37
第 9 表	特許データベース利用数	37
第 10 表	個人貸出登録者数	37
第 11 表	個人貸出冊数	38
第 12 表	リクエスト・サービス	38
第 13 表	複写サービス	39
第 14 表	講習会・講座・講演会等	39
第 15 表	ビジネス支援相談件数	40
第 16 表	視聴覚資料	41
第 17 表	ITコーナー利用数(1階)	41
第 18 表	インターネット情報検索コーナー利用数(3階)	41
第 19 表	他の図書館等への貸出状況	42
第 20 表	年度別蔵書冊数	43
第 21 表	年度別入館者数・個人貸出冊数	43
館 内 案 内 図		44

1 組織

(1) 組織図



(2) 職員の構成

(平成27年 6月 1日 現在)

区 分	館長	副館長	部長	課長	副主幹	主査	主事	司書	小計	臨時司書	再任用	非常勤	合計	備 考
館長・副館長	1	1							2				2	館長は県立図書館と兼務
管理課				1	1	1	2		5		1	2	8	
事業部	科学情報課			1	1	1		1	4	2		8	14	部長を含む
	産業情報課				1	1	2		4	1	2	4	11	
	資料整備課				1	1	1		3	2		9	14	
部 計			1	3	3	3		1	11	5	2	21	39	
合 計	1	1	1	4	4	4	2	1	18	5	3	23	49	男 8 女 10 (非常勤等 男 10 女 21)
司書有資格者数			1	3	2	3		1	10	5	1	21	37	

2 沿革

昭和	33年	11月	1日	神奈川県立図書館条例(昭和33年条例第32号)をもって設置
		同		神奈川県立図書館組織規則(昭和29年教委規則第8号)改正により2課3係制
昭和	33年	12月	20日	落成開館式を挙行
昭和	34年	1月	12日	館内閲覧業務を開始
	同	3月	20日	附属機関の設置に関する条例(昭和28年条例第5号)に基づき、神奈川県立川崎図書館協議会を設置
	同	5月	15日	商工資料室開室、工業所有権公報類の公開閲覧業務を開始
昭和	35年	1月	13日	社会人に図書の館外個人貸出しを開始
	同	4月	20日	小中学生を対象に図書の館外個人貸出しを開始
昭和	35年	7月	1日	図書資料の複写サービスを開始
昭和	36年	4月	16日	視聴覚資料の貸出し、また図書の工場等団体並びに大学生の館外個人貸出しを開始
昭和	39年	5月	1日	自動車による工場巡回文庫を設け、工場、事業所の従業員に対し、配本を開始
昭和	40年	9月	1日	高校生に図書の館外個人貸出しを開始
昭和	42年	1月	16日	書庫を増築、川崎市から取得
昭和	44年	7月	16日	神奈川県立図書館組織規則改正により2課4係制
昭和	45年	8月	18日	移動図書館車による青雲文庫を設け、工場、事業所の寮に住む勤労青少年に対し、配本を開始
昭和	46年	2月	25日	特許庁により公開広報閲覧所に指定
	同	6月	2日	神奈川県立図書館組織規則改正により3課7係制
	同	7月	1日	理工学文庫を設け、他の公共図書館に対し、理工学関係図書の配本を開始
昭和	47年	8月	1日	神奈川県立図書館組織規則(昭和47年教委規則第13号)が施行され3部7課制
昭和	49年	8月	1日	神奈川県立図書館組織規則改正により3部8課制
昭和	53年	11月	17日	開館20周年記念「図書館まつり」開催(19日まで)
昭和	55年	4月	1日	図書館協力車事業本格運行を開始
昭和	57年	12月	16日	1階改修工事により障害者施設の整備と科学技術資料室の充実等を実施
昭和	58年	4月	1日	神奈川県科学技術文献相互利用を開始
昭和	59年	3月	31日	工場巡回自動車文庫(工場巡回文庫、青雲文庫)を廃止
	同	4月	1日	神奈川県立図書館組織規則(昭和59年教委規則第4号)が施行され3部8課制
	同	12月	1日	国立国会図書館データベースオンラインによる検索サービス業務開始
昭和	60年	4月	1日	附属機関の設置に関する条例改正により、県立川崎図書館協議会と県立図書館協議会とが統合され、神奈川県図書館協議会を設置。ファクシミリサービスを開始
昭和	60年	9月	19日	改修工事(空気調和設備全面更新、その他改修)のため休館
昭和	61年	4月	19日	改修工事完了のため開館(60年9月27日~61年3月23日仮設図書館開設)
平成	元年	2月	15日	開館30周年記念式典を挙行
平成	2年	4月	24日	県立図書館において神奈川県立図書館情報ネットワーク・システム(KL-NET)一部稼働
平成	3年	4月	16日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム(KL-NET)全面稼働
平成	4年	3月	31日	団体貸出しを廃止
平成	5年	1月	21日	特許検索用CD-ROMを導入
	同	3月	31日	理工学文庫を廃止
平成	8年	9月	17日	特許庁の特許公報類閲覧所の指定が解除され、知的所有権センター支部として認定
平成	10年	1月	7日	リニューアル工事のため、全館休館(4月15日まで)
	同	4月	1日	神奈川県立図書館組織規則改正により、3部7課制。リニューアルオープン
平成	12年	3月	1日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム(KL-NET)を更新
平成	13年	4月	1日	附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県図書館協議会を廃止し、それに代わる意見聴取のための図書館アドバイザー会議を設置。祝日開館を開始
	同	6月	5日	ITコーナー(インターネット一般公開)開設
平成	14年	4月	1日	図書館アドバイザー会議を廃止し図書館アドバイザーレクチャー制度の導入
平成	16年	4月	15日	生涯学習文化財課収蔵センターに科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリーを開設
平成	17年	4月	15日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム(KL-NET)を更新
	同	10月	1日	ビジネス支援室(1階)を開設
平成	18年	4月	1日	神奈川県立図書館組織規則改正により2部6課制
	同			やさしい科学コーナー・おすすめ本コーナー(1階)、化学文献室(地下1階)を開設
平成	18年	9月	19日	生態学コーナー(1階)を開設
平成	19年	10月	12日	ビジネス情報クイックコーナー(1階)を開設
平成	20年	9月	12日	サイエンス・ナウ(Science Now!)コーナー開設
平成	20年	11月	13日	開館50周年記念式典を挙行
平成	21年	3月	31日	生態学コーナー(1階)を廃止
平成	22年	4月	1日	神奈川県立図書館組織規則改正により1部4課制
平成	24年	3月	31日	知的所有権センター認定要領廃止(名称は継続使用)
	同			ビジネス情報クイックコーナー(1階)を廃止

3 施設の概要

(1) 土地

名 称	面 積	所 在 地
図書館敷地	1,252.90㎡	川崎市川崎区富士見2丁目1番4号
合 計	1,252.90㎡	(川崎市より借地)

都市公園法に基づく公園施設設置許可(使用料:免除)

(2) 建物

名 称	取得年月日	延床面積	所 在 地
本 館	昭和33年10月29日	2,856.13㎡	川崎市川崎区富士見2丁目1番4号
書 庫	昭和42年1月16日	694.25㎡	同 上
合 計		3,550.38㎡	

(3) 建物の内訳

本館：鉄筋コンクリート造、書庫：鉄骨鉄筋コンクリート造

地階	271.86㎡	機械室、化学文献室(2席)
1階	955.68㎡	ビジネス支援室(85席)、知的所有権センター支部、 ビジネス関連資料、ビジネス新聞・雑誌、規格関連資料 特許関連資料、かながわの自然と産業、川崎公害裁判訴訟資料 やさしい科学コーナー、ITコーナー、書庫
2階	876.17㎡	館長室、事務室、整理室、産業情報課準備室、ホール、会議室 展示コーナー、協力室、書庫
3階	1001.17㎡	科学技術室(110席)、インターネット情報検索コーナー ポピュラーサイエンスコーナー、サイエンス・ナウコーナー、 書庫
4階	387.24㎡	社史室(4席)、書庫
塔屋	58.26㎡	
合計	3,550.38㎡	合計座席数201席

(4) 野庭収蔵センター(デポジット・ライブラリー)

ア 施設：文化遺産課収蔵センター

横浜市港南区野庭町1660(旧県立野庭高等学校)

北棟3階	426.24㎡	事務室 書架(雑誌)
北棟4階	461.76㎡	書庫(図書・雑誌)
南棟4階	603.84㎡	書庫(雑誌)
計22教室	1,491.84㎡	

イ 収蔵資料(平成27年3月末現在)

図 書		約41,000冊
雑 誌	科学技術雑誌(外国語)	1,766誌
	科学技術雑誌(日本語)	329誌

4 平成27年度 県立川崎図書館の取り組み

(1) 県立の図書館の基本理念

神奈川県立の図書館は、
「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、
神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

(2) 基本方針（平成27年度～29年度）

- 1 科学技術の最新動向を踏まえて資料・情報を収集・保存・提供し、「調査研究活動支援」機能を高め、県民に役立つ図書館サービスを展開して有用な「知の拠点」を築く。
- 2 館内展示や各種講演会、講座、科学実験教室、ビジネス支援相談などを企画・開催・発信し、県民の知的好奇心に応える多彩で魅力的な「知の機会」を提供する。
- 3 特許情報の利用促進を図り、「ものづくり」の基盤となる規格類の収集・活用にも努め、県域産業の活性化に貢献する。
- 4 ICT（情報通信技術）を活用し、「図書館の現在（いま）」を広く発信し、県民の情報リテラシー向上に寄与する。
- 5 県内試験研究機関や市町村図書館・大学図書館・高校図書館と密接な連携を図り、県域全体の図書館サービスを充実させる。
- 6 図書館活動について常に「P＜計画＞ D＜実施＞ C＜点検（評価）＞ A＜見直し＞」のサイクルで業務の見直しを図り、図書館経営の持続的な改善を行う。県民からの意見・要望を真摯に受け止め、「開かれた図書館」としての運営を行う。
- 7 魅力ある県立図書館像の調査研究を進め、「神奈川らしい新たな県立の図書館」の創造に努める。

(3) 平成27年度重点的な取り組み

- 1 資料・情報の収集・整理・保存・提供
特許・規格・科学技術の図書・逐次刊行物さらに産業資料としての社史という当館独自の資料群を整備・充実させる。特に書店では購入できない、社史や技術報告類の収集に積極的に取り組む。利用者の視点に立って資料をわかりやすく配置し、県民の調査研究・課題解決を支援する。また、県立の図書館の役割として、将来に向けた保存にも留意する。

2 データベース等利用の推進

データベースや電子ジャーナルの利用を一層推進するため、利用者自身が雑誌文献、特許、ビジネス情報や国立国会図書館デジタル化資料を効率的に検索できるよう、職員による「資料の調べ方講座」の開催や、利用をよびかけるチラシの作成などに取り組む。

3 「知の機会」の提供

図書館資料を活用したタイムリーで魅力のある展示や講演会、講習会など多彩な催しを開催し、「いつも何か面白いことがある」図書館をアピールするとともに、各機関と連携し、「サイエンスカフェ」など情報交流の場の提供にも努め、「人と情報」「人と人」のつながる場としての図書館像を提示していく。

4 情報発信の充実

特徴ある資料の目録作成・公開に積極的に取り組む。県の広報媒体や、新聞・雑誌・放送などのパブリシティの積極的な活用により、当館の利用の促進を図る。また図書館ホームページ等の充実等により、県民に役立つ図書館運営に努める。さらに「国立国会図書館レファレンス協同データベース」への提供事例の公開により、当館の調査研究機能を広く発信していく。

5 関係機関との連携

科学技術文献の提供やレファレンス等を通じて、市町村図書館・大学図書館・高校図書館の支援、県試験研究機関等への行政支援、「神奈川県資料室研究会」と連携を深めた企業支援等、各種機関との連携・支援をいっそう充実させて、県内科学技術・産業の振興に寄与していく。

6 魅力ある新たな県立の図書館像の検討

県立図書館をはじめとする関係機関と連携し、「魅力ある新たな県立の図書館」の検討に積極的にかかわっていく。

(4) 図書館活動の数値目標

平成27年度は、次の6項目で示された数値目標を達成することを目指す。

	活動指標	数値目標	備考
1	新規資料寄贈数	450 点	新たに企業等から寄贈を受けた社史および技術報告書等雑誌の点数
2	データベース利用者数	1,000 人	科学技術文献や特許情報等、データベースの利用者数
3	テーマによる資料展示回数	120 回	利用を促進するため、テーマによる資料展示を行った回数
4	利用者向けイベント等の参加者数	1,700 人	イベント、ビジネス相談等の参加者数
5	ホームページコンテンツの新規作成件数	60 件	ブログ風記事「司書の出番」等、新たなホームページコンテンツの新規作成件数
6	メディア掲載件数	60 件	活動・取組みが新聞・雑誌・放送・ウェブサイト等の外部メディアに掲載された件数

5 平成27年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画

生涯学習 提供	(1) 資料収集・整備	ア 資料・情報の収集	(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑、年報、論文集等)の収集	自然科学、技術・工学、産業、情報科学の事典等の参考図書、最新の知見が書かれた専門図書、基本概説書を収集する。逐次刊行物においては、信頼性の高い最新情報や研究論文を収録する学会誌、協会誌、講演論文集等を収集する。官公庁発行の報告書、企業技報、理工系大学の紀要等を収集する。
			(イ) ビジネス関係資料、特許公報類、規格類等の収集	特許公報関係の解説書及び活用事例に関する図書類、国内外の規格類及び解説書を収集する。ビジネス支援として品質管理等に関する図書も収集する。
			(ウ) 会社史、経済団体史、公社・公団史、労働組合史の収集	会社史・経済団体史は古書も含め、積極的に収集し、社史コレクションの充実に努める。関連する業界史や実業家の伝記の収集にも留意する。
			(エ) 産業安全・労働衛生、ビジネス関連ビデオ・DVDの収集	会社・事業所の研修用として、産業安全・労働衛生・品質管理・環境管理に関するDVDを収集する。
			(オ) 資料の整理、点検、修理、製本	資料の整理は迅速かつ的確に行う。資料点検、修理製本等を行い、資料の適正な管理及び保管に努める。
	イ 資料・情報の整備	(イ) 資料データの整備	当館の所蔵データベースのKL-NETに加え、CiNii Booksへのデータ登録や各種目録類を整備・公開し、多様な検索手段を提供する。	
		(ウ) 資料配置計画及び館内サイン計画の検討・実施	随時図書の書庫入れ作業などを行い、効率的でわかりやすい書架を維持するように努める。館内の掲示等は、利用者の注意を喚起し、端的な表現で視覚に訴えるものを工夫する。	
		(エ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備	県立図書館と共同して、神奈川県に関する新聞記事・雑誌論文等を収集し、その索引データをKL-NETに入力して、県民が地域情報を迅速かつ広範に検索・入手できる環境を整える。	
		(オ) 科学技術系外国語雑誌デジット・ライブラリーの整備	神奈川県資料室研究会加盟企業等から寄贈された科学技術系外国語雑誌を、横浜市内の野庭収蔵センターに別置き、データを公開して、利用の促進を図る。	
		(ア) レファレンスサービス	科学技術、自然科学、産業及び会社史資料に関する様々な質問について、迅速かつ的確な対応を行う。特に、規格や特許については当館独自の分野であるので、市町村職員対象の研修会やレファレンス協同データベースへの登録で、当館のノウハウの伝達にも努める。	
	(2) 資料・情報の提供	ア 基本的サービス	(イ) 閲覧、登録、貸出(含む視聴覚資料)、リクエストサービス	各カウンターに司書職員を配置し、的確な利用者サービスを実施する。ビジネスユースの利用者のために書庫内資料(特に雑誌のバックナンバー)の大量出納にも応じ、効率的な調査研究を支援する。産業安全関係視聴覚資料は団体貸出を行う。
			(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス	館内で図書や雑誌の文献複写ができるようコピー機を設置している。郵送による文献の複写や自宅での図書の受け取り等、開館時間内に来館できない県民にも広くサービスを行う。
			(エ) オンラインデータベースサービス	科学技術に関する論文検索のJdream とCiNii、新聞記事検索の日経テレコン、特許情報検索のJP-NETとJ-PlatPatを提供し、利用者自身が検索できる環境を整える。
			(オ) インターネット情報検索サービス	インターネットによる情報検索や文書作成等の利用の便を図る。また、ボランティアグループ「さくらネット川崎」と共催で、初心者向けの「パソコン講習会」を開催する。
			(カ) 障害者サービス	肢体不自由のため来館できない県民のために、図書の郵送貸出しサービスを行う。
		イ 特色あるサービス	(ア) 科学技術情報の提供	科学技術室において、専門的な図書・雑誌を提供するとともに、「サイエンス・ナウ」「ポピュラーサイエンス」等のコーナー運営を多彩に展開し、科学技術情報の普及に努める。
			(イ) 知財関係情報の提供	特許関係の図書・雑誌を提供する。川崎市とタイアップした「知財スクール」や、「発明相談」等の専門家による相談事業を行い、知財情報の普及に努める。
			(ウ) 社史情報の提供	社史室において、約1万7千冊の会社史を公開している。社史関連講演会や社史フェアの開催、社史の魅力の広報等多面的なサービスを展開する。
			(エ) やさしい科学情報の提供	子供から大人までを対象に理科や科学の入門書や雑誌、情報や技術の実用書を収集している。科学技術への関心を高める展示等の工夫を行う。
			(ア) 行政支援の推進	各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービスを行い、県職員の業務遂行、研究活動を支援する。
(3) 連携・協力事業	ア 連携・協力	(イ) 図書館情報ネットワークの推進	県立図書館と協力して、KL-NETを通じた県内市町村立図書館の資料の相互利用を図り、県民サービス向上につなげる。	
		(ウ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進	都道府県立図書館等との相互利用を推進し、利用者の利便性の向上を図る。	
		(エ) 県立高校、県内大学図書館との連携、協力の推進	県立高校の図書館や県内の大学図書館などへ資料を提供するなど、教育現場における学習や調査研究のための連携、協力を推進する。	
	イ 関係団体等業務	(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整	「神資研(しんしけん)」は、県内企業、大学、研究機関のライブラリーや知財部門で構成されている館種を超えたネットワーク。例会の開催や、ニュースと年報の発行をサポートする。	
		(イ) 知財関係団体等との連絡調整	知的財産の創造、保護及び活用を推進するとともに、中小企業等の知的財産戦略策定の支援を図るために、県内知的財産関係機関が相互に連携を強化する。	
(4) 広報・普及活動	ア 広報活動	(ア) 広報企画会議の運営	様々なイベント(展示・講座・サイエンスカフェ・その他)の実施について、年間計画を作成し、企画調整を行う。	
		(イ) 展示の実施	当館所蔵資料と自作パネルや他からの借用物と組み合わせ、年間4回の展示を開催する。時宜に合うテーマを選び、当館の魅力発信の場として位置づける。展示後、可能なものは県内市町村図書館にも貸し出しを行う。	
		(ウ) 図書館実習等の受入れ、見学者への対応	図書館を身近に感じ、理解を深める手段として、図書館学専攻の学生の実習、高校生・中学生の職業体験や見学希望も積極的に受け入れる。	
		(エ) ホームページの運営	展示や講演会などのイベントの案内や報告、図書館での出来事など、有益な広報の手段としてホームページを活用する。「司書の出番(ブログ風の記事)」「クリッピング!(写真で見る図書館)」など、生き生きとした情報発信に心がける。	
		(ア) 展示関連イベントの開催	展示を当館の広報の中心と考え、展示に合わせて講演会等も開催し、重層的な「知」の機会を提供する。	
	イ 講座等開催事業	(イ) サイエンスカフェの開催	平成18年度から開催を続け、気軽に科学技術の専門家と語り合える場として人気のイベントである。今年度も県内の試験研究機関等の研究員を講師に迎え、3回程度の開催を予定している。	
		(ウ) その他各種イベントの開催	資料の調べ方講座、図書館探検ツアー、「文字活字文化の日」講演会、「社史ができるまで」シリーズ講演会、ビジネス支援トーク、科学実験教室、夏休み科学映画会、等々魅力的なイベントを開催していく。	
		(ア) 館報「科学EYES」の刊行	当館の館報として、科学技術系と自然科学系にテーマを分け、年2回刊行する。専門家に論文執筆を依頼し、合わせて当館の文献目録を作成し、来館者、県内公共・大学図書館や全国の都道府県立図書館等に配布する。	
		(イ) 「テーマ別文献目録」の刊行	新しい科学技術に関するテーマを選び、所蔵する図書や雑誌論文を集めた「テーマ別文献目録」を年2回編集発行する。話題性のある事項に関しては、随時速報版も発行し、ホームページからも発信する。	
		(ウ) その他定期刊行物の発行	S i L (科学と産業の情報ライブラリーニュース)を年4回、社史室の広報誌である「社楽」を毎月、「やさしい科学しんぶん」を年2回発行する。	
(5) 図書館運営の条件整備	ア 運営状況の点検・評価	(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営	両図書館の長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画、実施しているが、両館共通のテーマ設定、ふさわしい講師の選定などに協力し、職員の研修機会としても機能させる。	
		(イ) 県民意見を聞く会の開催	直接県民の意見を聞く機会を設け、よりよい県立図書館のあり方を県民とともに考える場を設定する。県立図書館とともにその開催方法を検討し、実施していく。	
		(ウ) 活動評価の実施、公表	平成27年度は前年度と同じく(新規資料寄贈数・データベース利用者数・テーマによる展示回数・利用者向けイベントの参加者数・ホームページコンテンツの新規作成数・メディア掲載件数)の6指標で数値目標を設定したうえで評価を行い、「計画 実施 評価 見直し」の持続的な運営改善を図る。	
		(エ) 利用調査の実施	「統計」数値の確認に加え、利用実態の把握のために、きめ細かい利用調査を実施し、その結果を分析して、今後のサービスに活かす。	
		(オ) 職員の研修	第二木曜の館内整理日を活用して、司書職員の資質向上のための研修機会を設ける。県図書館協会の研修をはじめ、各種研修に積極的に参加し、その成果を共有して、全職員のレベルアップにつなげ、利用者の満足度向上を図る。	
	イ 施設の整備	(カ) 職員の研究と発信	情報の専門職として司書職員のスキルアップの活動を支援し、研修講師、図書館の紀要や学会誌への論文の投稿や、研究成果の発表・発信に結実させ、川崎図書館職員全体の能力向上を図る。	
		(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備	図書館として必要な施設の維持管理を行い、施設設備等の不具合が生じた際には適宜現状復帰を図るとともに、利用者に快適な施設環境を提供するための諸施設の整備を行う。県立川崎図書館の財産の適正な維持及び業務の運用に係る効率的な経費の執行を行う。	
		(イ) ISO 14001の推進	ISO14001の規格に適合していることを自ら宣言するという「自己適合宣言」のもとで、環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮を行う。	

6 予算・決算

(ア) 平成27年度当初予算

(単位：円)

事業名	細事業名	予算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	29,473,000		
	財源内訳	雑入	2,000,000	複写サービス
		立替収入	50,000	自動販売機・複写機電気料金立替収入
		一般財源	27,423,000	
	図書館事業費	20,672,000	資料・情報整備費 16,369,000 産業資料充実費 900,000 講演会及び調査相談事業費 3,403,000	
	財源内訳	雑入	58,000	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	20,614,000	
	計	50,145,000		
	財源内訳	雑入	2,058,000	
		立替収入	50,000	
一般財源		48,037,000		

(イ) 平成26年度決算

(単位：円)

事業名	細事業名	決算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	25,475,085		
	財源内訳	雑入	941,080	複写サービス
		立替収入	54,581	自動販売機・複写機電気料金立替収入
		一般財源	24,479,424	
	図書館事業費	21,307,256	資料・情報整備費 16,748,752 産業資料充実費 900,888 講演会及び調査相談事業費 3,657,616	
	財源内訳	雑入	27,370	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	21,279,886	
	計	46,782,341		
	財源内訳	雑入	968,450	
		立替収入	54,581	
一般財源		45,759,310		

(参考) 川崎図書館費の推移

(単位：円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	H26/H22
当初 予算額	維持運営費	30,904,000	31,181,000	28,829,000	28,484,000	28,915,000	93.6%
	図書館事業費	28,539,000	28,489,000	26,975,000	23,909,000	21,634,000	75.8%
	計	59,443,000	59,670,000	55,804,000	52,393,000	50,549,000	85.0%
決算額	維持運営費	28,131,005	26,503,023	25,715,467	26,669,215	25,475,085	90.6%
	図書館事業費	27,690,724	28,056,263	26,163,749	23,943,506	21,307,256	76.9%
	計	55,821,729	54,559,286	51,879,216	50,612,721	46,782,341	83.8%

7 平成 26 年度 事業の概況

(1) 資料収集・整備

ア 資料・情報の収集

(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑、年報、論文集等)の収集

a 図書

平成 27 年 3 月末現在の蔵書冊数は 255,368 冊で、前年度に比べて 2,634 冊の増加となっている。図書の部門別蔵書構成比は第 1 図のとおりである。受入れ冊数 2,930 冊(前年度 3,342 冊)のうち 37%が寄贈によるものとなった。

また昨年度に引き続き、不用・汚破損図書 122 冊を除籍したほか、平成 24 年度から継続して所在不明となっている図書 144 冊、及び平成 23 年度に貸出して回収不能となった図書 26 冊、弁済図書 4 冊を除籍し、払出し冊数 296 冊(前年度 274 冊)となった。(p.35 事業統計第 1 表 参照)

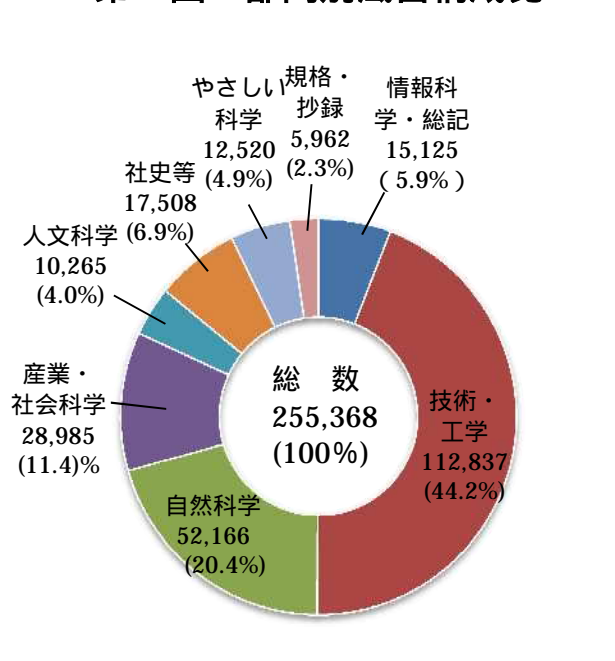
b 雑誌類

雑誌類の平成 27 年 3 月末現在の所蔵タイトル数は 8,638 誌となっている。これは購入あるいは寄贈の中止、休・廃刊、誌名変更等による非継続誌を含んでいる。このうち継続受入誌は 2,098 誌である。主に学・協会誌、大学研究報告書、官公庁、企業等の発行する科学・技術専門雑誌などである。

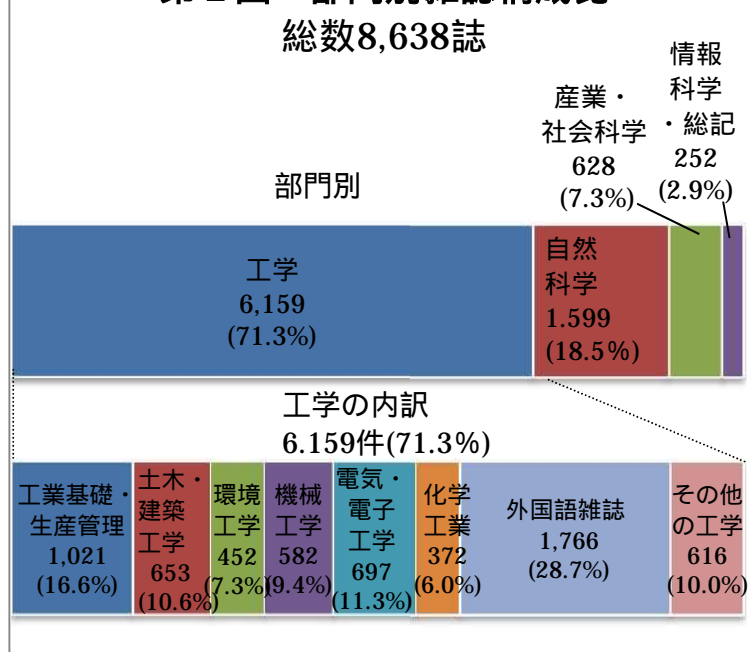
外国語雑誌の所蔵タイトル数は内数として 2,160 誌で、その内訳は、デポジット・ライブラリー 1,766 誌、日本化学会等からの寄贈 389 誌、購入 2 誌、その他の寄贈が 3 誌となっている。雑誌の部門別構成比は第 2 図のとおりである。

新聞は、一般紙、専門紙・業界紙など平成 26 年度に見直し 10 紙を購入、19 紙を寄贈により収集している。(p.35 事業統計第 2 表 参照)

第 1 図 部門別蔵書構成比



第 2 図 部門別雑誌構成比



(イ) ビジネス関係資料、特許公報類、規格類等の収集

ビジネス関係資料として、特許公報関係の解説書・活用事例に関する図書類の収集をした。

また、規格資料については「所蔵規格資料リスト」を図書館ホームページに掲載し、利用者への便宜を図っている。

主な所蔵資料は次表のとおり。

主な規格資料の保有状況

区 分		保 有 状 況
外国規格	ASTM(米国材料試験協会規格)	2014年版 旧年版もあり
	DIN(ドイツ連邦規格)	1971年版～2012年版のハンドブックの一部(英訳版も一部所蔵)
国内規格	JIS(日本工業規格)	全分野(A～Z)所蔵 毎月差し替えを行っている。廃止JISは1996年以降所蔵。JISハンドブック(2015年版が最新)、英訳JISハンドブックも所蔵(2012年刊行分が最新)
	JEC(電気学会規格)	大部分所蔵(廃止も一部所蔵)
	JEM(日本電気工業会規格)	追録あり 2014年更新分まで
	JASO(自動車技術会規格)	2011年版が最新

他には、業界新聞、実業家伝記等を収集している。

(ウ) 会社史、経済団体史、公社・公団史、労働組合史の収集

全国有数との評価を得ているコレクションであり、積極的に収集をおこなった。

平成26年度の受け入れ数は436冊、内訳は購入が6冊、寄贈が430冊で、所蔵総数は17,508冊となった。(p.35 事業統計第1表 参照)

(エ) 産業安全・労働衛生、ビジネス関連ビデオ・DVDの収集

平成26年度は団体貸出用DVDを5本受け入れ、個人貸出用ビデオ16本を除籍した。

平成27年3月末の所蔵は1,573本となっている。内訳は団体貸出用に産業安全・労働衛生・品質管理等のビデオ242本、DVD60本を所蔵。

個人貸出用には、(財)神奈川中小企業センターより寄贈された約1,200本のビデオに加え寄贈されたビデオ・DVDを合わせ、1,271本を所蔵している。

(p.36 事業統計第4表 参照)

イ 資料・情報の整備

(ア) 資料の整理、点検、修理、製本

資料総点検を4月に実施。1階・3階の公開図書、視聴覚資料ならびに新書庫1階・旧書庫3階の4門資料(自然科学)の点検及び1階「神奈川コーナー」の配置換えならびに書庫入れ作業に対応できるように書庫内の書架の整理作業を行なった。

日常の配架作業の折に公開書架の見直しを行い、内容的に古くなった資料を書庫入れするとともに資料の修理等を実施した。

(イ) 資料データの整備

購入・寄贈等により新規に受け入れた資料の書誌データを速やかにホームページに掲載し、利用者に情報を提供する。平成 26 年度は 2,930 冊分のデータを作成し、利用に供した。

所蔵資料の付録の電子媒体資料（CD-ROM等）及び野庭収蔵センターで所蔵する洋雑誌について KL-NET へのデータ登録を実施した。

当館で所蔵する社史と実業家の伝記を関連付けて調べられるようにデータ整備を行い、「伝記資料リスト（実業家と関連会社）」としてまとめ、ホームページに掲載した。図書は、実業家の 50 音順に配架し、所蔵が 2 冊以上ある実業家には、人物名+会社名の見出板をつけ、見やすいよう工夫した。

(ウ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備

県立図書館と共同で神奈川県に関する文献（新聞記事及び図書・雑誌論文等）の主な情報を入力し、利用者に提供を行っている。平成 26 年度は、神奈川県に関する文献 859 件（県内文献 341 件、県内新聞記事 518 件）の新規データ入力を行った。

(エ) 科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリーの整備

県内企業情報センター等との協力により、科学技術系外国語雑誌を保存・活用している。

宅配による週 4 回（火・水・木・金）の配送により本館への資料配送を行い、閲覧及び複写の利用に供した。平成 26 年度の所蔵資料数は 1,766 誌である。

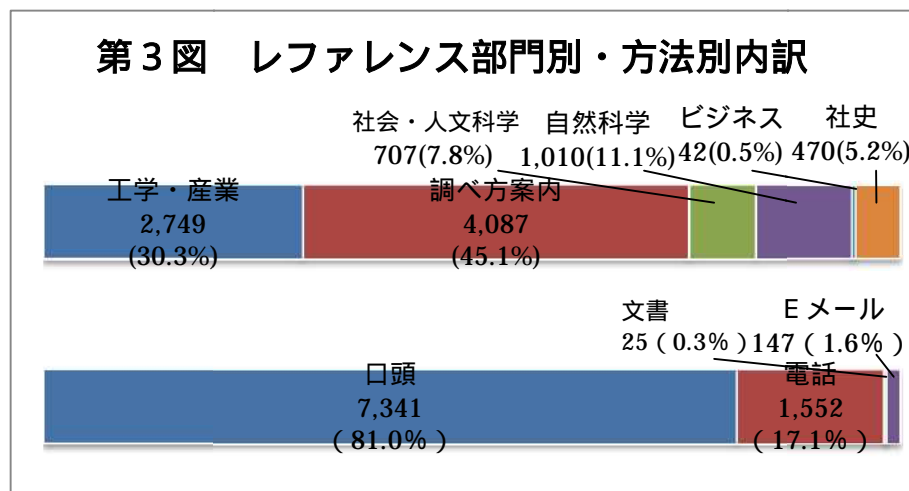
利用冊数は 1,715 冊（平成 25 年度 2,876 冊）、複写枚数は 1,568 枚（平成 25 年度 2,659 枚）だった。複写枚数のうち 1,542 枚（98%）は洋雑誌であった。

(2) 資料・情報の提供

ア 基本的サービス

(ア) レファレンスサービス

平成 26 年度のレファレンス受付件数は 9,122 件（協力レファレンス 57 件を含む）で、前年度比 7.5% 増となった。当館の特色である科学技術や特許、規格に関するレファレンス事例については、国立国会図書館のレファレンス協同データベースシステムに登録、広く公開した。レファレンスの部門別・方法別内訳は第 3 図のとおりである。（p.36 事業統計第 6 表 参照）



(イ) 閲覧、登録、貸出（視聴覚資料含む）、リクエストサービス

平成 26 年度の入館者数は 162,915 人（一日平均 550.4 人）で前年度比 11.5%の減となった。

4 階社史室、3 階科学技術室、1 階ビジネス支援室いずれも減少している。（p.36 事業統計第 5 表 参照）

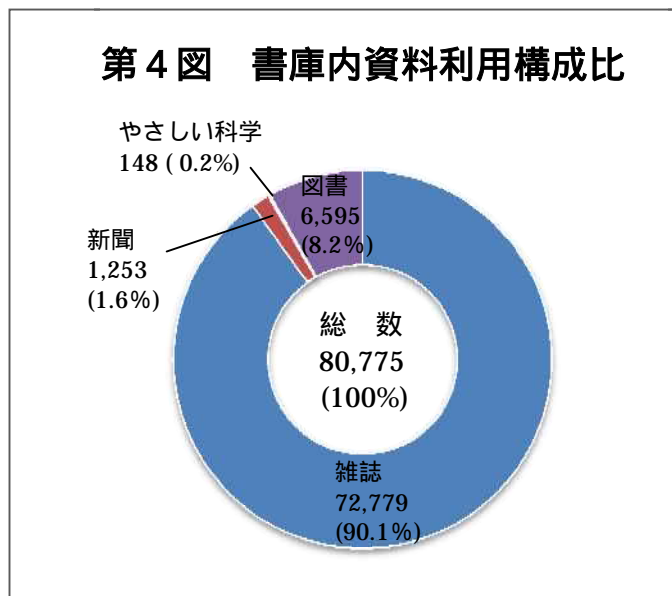
個人の新規登録者は 1,394 人で前年度比 0.5%減、貸出は図書 41,244 冊で前年度比 11.6%減、視聴覚資料の貸出は 4,296 点で前年度比 205%の大幅増となった。これは県立図書館からの視聴覚資料取り寄せが 4,187 点と、前年の 1,960 点の 2 倍以上に増加したためである。

産業安全・労働衛生・品質管理の DVD 等の団体貸出の登録団体 251 団体（新規登録者は 130）、貸出は 388 件（ビデオ 214 点・DVD790 点 前年度比 13.0%減）。上映回数は 1,710 回で前年度比 13.4%減、参加人数 38,680 人であり、会社・事業所などの研修に多数利用された。ビデオについては、再生機器を持たない企業が増え、利用が減っていると思われる。個人貸出用のビデオ・DVD の個人貸出は 109 点であった。（p.37 事業統計第 10 表、p.38 第 11 表、p.41 第 16 表 参照）

書庫内資料利用数は 80,775 冊で前年度比 6.7%の減となった。書庫内資料利用の 90.1%が雑誌である。書庫内資料の利用構成比は第 4 図のとおりである。

（p.37 事業統計第 7 表 参照）

リクエストは 9,203 件で前年度比 3%の減となった。（p.37 事業統計第 12 表 参照）



(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス

複写サービスの総計は申し込み 8,461 人、複写枚数 178,538 枚で前年度比人数は 5.4%減、枚数は 2.1%減少した。館内利用はほぼ前年並みの利用があったが、郵送等による在宅利用文献複写サービスは 982 人、16,115 枚と前年比いずれも 20%の大幅減となった。（p.39 事業統計第 13 表 参照）

宅配貸出サービスは、209 冊で前年度比 27.2%減少した。

(エ) オンラインデータベースサービス

データベース利用数は 838 人で前年度比 12.4%減少した。その内訳はビジネス

支援室で利用できる特許関係データベース「J P - N E T」（日本パテントデータサービス）、「I P D L」（工業所有権情報・研修館）はあわせて 373 人、「日経テレコン 2 1」（日本経済新聞社）は 107 人であった。また科学技術室で利用できる「J D r e a m」（ジーサーチ）は 164 人、「C i N i i」（国立情報学研究所）は 98 人であった。平成 26 年 2 月から国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」の提供を開始し、平成 26 年度は、96 人の利用があった。データベース検索では、5 月の IE の脆弱性問題、11 月のインターネット環境不調等により、利用数が減少した。（p.37 事業統計表第 8 表、第 9 表 参照）注：「I P D L」は H 27 年 3 月 23 日より「J - P l a t P a t」に名称変更

(オ) インターネット情報検索サービス

3 階科学技術室「インターネット情報検索コーナー」(PC6 台)では、延べ 1,458 人の利用があり前年度比 12.7%減、1 日の平均利用者数は 4.9 人であった。1 階ビジネス支援室の「I T コーナー」(PC14 台/節電により実質 10 台)では、延べ 7,650 人の利用があり前年度比 0.6%増、1 日の平均利用者数は 25.8 人であった。なお「I T コーナー」の利用者数は、インターネットによる情報検索だけでなく、Word や Excel の演習等も含んだ人数である。多数の方に利用していただくため一人 1 日 1 時間の利用としているが、平成 24 年 6 月から 1 回に限り延長を認めている。

またボランティアグループ「さくらネット川崎」の協力を得て、初心者向けの「パソコン講習会」を 11 回開催し 137 人の参加があった。（p.41 事業統計表第 17 表、第 18 表 参照）（p.22 8 平成 26 年度 講座等実施状況 参照）

(カ) 障害者サービス

肢体不自由のため来館できない県民のために、図書の郵送貸出サービスを行っているが、26 年度には利用申込がなかった。

イ 特色あるサービス

(ア) 科学技術情報の提供

科学技術、産業技術に関する最新の知見の資料等の整備・提供に努めた。

また各コーナーで資料展示を行い、所蔵資料の紹介と利用の促進を図った。「ポピュラーサイエンスコーナー」では科学技術分野の様々なテーマへの入門的な資料を展示、紹介した（9 回）。「サイエンス・ナウ(Science Now!) コーナー」では、新聞や雑誌記事等でとりあげられた自然科学や技術工学に関する話題性の高いテーマについて 46 回、所蔵図書等で紹介した。

（p.22 8 平成 26 年度 講座等実施状況 参照）

当館のニュース、講演会・講座等の行事、資料の紹介など様々なお知らせをするため、科学と産業のライブラリーニュース「S i L」を刊行した。

（p.17(4) ウ刊行物の刊行 参照）

(イ) 知財関係情報等の提供

ビジネス支援サービスの一環として、特許検索用端末を 2 台用意し、特許庁が提供する特許電子図書館や米国特許商標庁、欧州特許庁のサイトや、日本パテントデータサービス(株)が提供する特許情報データベース(J P - N E T)による特許情報の提供を行った。また、川崎市と共催で「かわさき知的財産スクール」を計 6 回

開催し、201名の受講者があった。関東経済産業局主催による「戦略的知財マネジメント促進事業 知的財産セミナー」も2回開催し、54名の受講者があった。横浜弁護士会、日本弁理士会関東支部、神奈川県発明協会の後援により「図書館で学ぶ知的財産講座2014」を5回開催し、199名の受講者があった。相談事業としては、「発明相談」は月1回、一般社団法人神奈川県発明協会の協力を得て、30件の相談があった。「創業・経営相談」は月2回、公益社団法人けいしん神奈川の協力を得て、16件の相談があった。「産業関係団体からの推薦図書コーナー」では、川崎商工会議所・県産業技術センター・けいしん神奈川・神奈川県発明協会等の11団体から推薦された図書を購入し、ビジネスに役立つ資料として展示している（年2回実施）。推薦図書コーナー並びには、図書館の資料を紹介する「アプローチ展示」を新たに開始し、また「ビジネス関連資料コーナー」では、「ビジネスレコメンド」とし、毎月1回テーマを決めて、展示を行った。（p.22 8 平成26年度 講座等実施状況、p.37 事業統計表第9表、p.40 第15表 参照）

（ウ） 社史情報の提供

全国有数との評価を受けている社史コレクションを公開し、利用に供し、その活用を図った。

「社史ができるまで」講演会は6回開催した。テーマを決めて社史を紹介する「社史の窓辺」コーナーでは11回の展示を行った。また、新たなイベントとして「社史フェア2014」を開催した。2013年に刊行された約200冊の社史を、2階ホールに簡単な解説を付けて平置きし、手にとってみていただけるよう工夫し、3日間で103名の入場があった。（p.22 8 平成26年度 講座等実施状況 参照）

社史コレクションの活用のため、社史の使い方や社史情報などを紹介する「社楽」を13回刊行した。（p.17（4）ウ刊行物の刊行 参照）

（エ） やさしい科学情報の提供

子どもから大人まで利用できる理科や科学の入門レベルの資料、情報や技術の実用書を整備し提供した。また「やさしい科学しんぶん」を、年2回発行した。1つのテーマを決めて本の紹介をし、科学に興味をもってもらえるよう小学校等へ配布している。さらに、毎月テーマを決めて、やさしい科学コーナーの本の展示と紹介パンフを作成している。

（オ） 行政支援情報の提供

ビジネス支援室の「かながわの自然と産業」コーナーでは、神奈川に関連した図書・雑誌とともに、各行政機関からの情報公開資料を提供している。

（3） 連携・協力事業

ア 連携・協力

（ア） 科学技術文献相互利用の推進

県立図書館協力車、宅配便、遞送便による配送により、相互利用の促進を図っている。

関係機関には図書を102冊貸し出し、複写は430件1,776枚提供した。

（p.42 事業統計第19表 参照）

(イ) 図書館情報ネットワークの推進

県立図書館を通し、県内公共図書館への資料提供数は 9,223 冊であり、前年度比 5%減少した。内訳は県立図書館 2,214 冊、市町村立図書館 2,660 冊、横浜西口カウンターに 4,349 冊である。また県立図書館から 3,877 冊、県内市町村立図書館から 657 冊借り受け、利用者に提供した。

また、県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業のなかで、川崎図書館の特色ある資料とサービスについて当館職員が担当し、研修を実施した。

(p .38 事業統計第 12 表 参照) (p .20 (5) ア (カ) 職員の研究と発信 参照)

(ウ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進

県外の公共図書館に 300 冊を貸し出し、また 17 冊を借り受けた。科学技術・工学系の専門書や社史など当館の特色ある資料が北海道から沖縄県まで、広く利用されている。(p .38 事業統計第 12 表 p .42 第 19 表 参照)

(エ) 県立高校、県内大学図書館との連携、協力の推進

「県立の図書館と県立高等学校との連携・協力事業」を利用する県立高等学校への資料提供やレファレンスサービスに努めた。貸出冊数は 191 冊、前年度と同数であった。また県立図書館が企画する高等学校図書館職員を対象とした研修事業のなかで、川崎図書館の特色ある資料とサービス、科学技術情報の調べ方とレファレンスの考え方について当館職員が担当し、研修を実施した。

県内大学図書館には県立図書館協力車により、54 冊貸出した。

(p .42 事業統計第 19 表 参照)

イ 関係団体等業務

(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整

運営に係る総会および理事会を 6 回実施し、月例会を 11 回、デポジット・ライブラリーの視察と意見交換会を 1 回開催した。平成 26 年 11 月、横浜で開催された「第 16 回図書館総合展」には、ブース出展とフォーラム開催で参加した。刊行物は、「神資研ニュース」年 10 回、年報「神資研 第 48 号」を発行している。神資研資料保存分科会の活動により、年報の総目次を作成し、HP 上で No . 46 ~ 48 を掲載した。平成 26 年度末の会員数は、正会員 89、賛助会員 10、個人会員 23、合計 122 会員であった。当館では、会長(館長)・理事 1 名(事業部長)・事務局(産業情報課)を担当している。

(イ) 知財関係団体等との連絡調整

県産業技術センターの主催する「知的財産関係機関連絡調整会議」が 2 回、一般社団法人神奈川県発明協会が主催する「神奈川県中小企業等知財取得活用支援機関連絡会議」も 2 回開催され、知的所有権センター支部として参加し、関係機関との情報交換等を行った。

(4) 広報・普及活動

ア 広報活動

(ア) 広報企画会議の運営

図書館活動の企画や広報について検討する広報企画会議を5回開催した。

2階ホール前に講演会等の紹介パネルを作成・掲示し、他のイベント参加者への広報に努めた。

(イ) 展示の実施

当館所蔵資料の紹介と利用の促進を目的として2階展示コーナーでミニ展示を4回開催した。(p.22 8 平成26年度 講座等実施状況 参照)

またイベント会場等で当館の紹介展示を行い、あわせてチラシ等を配布し、広報につとめた。

日 時	イベント
10月8日(水)	第4回かわさき信用金庫ビジネスフェア(川崎市とどろきアリーナ)

(ウ) 図書館実習生の受入、見学者への対応

a 図書館実習

大学で図書館・情報学を受講している学生等の図書館現場での実習のため実習生を受入れた。

大 学 名	受 入 期 間	人 数
慶應義塾大学	9月2日~9月13日	2名
相模女子大学	9月2日~9月13日	1名

b インターンシップ

県の事業として、インターンシップ生を受入れた。

学 校 名	受 入 期 間	人 数
青山大学	8月1日~8月12日	1名
慶應義塾大学	8月1日~8月12日	1名
県立高等学校生	7月29日~7月31日	2名
計		4名

c 体験学習等

学校からの依頼を受け、体験学習の生徒を受入れた。

学 校 名	受 入 期 間	人 数
川崎市立田島中学校	7月9日	3名
川崎市立富士見中学校 (フィールドワーク)1年生	9月25日	6名
川崎市立京町中学校	1月22日	3名
川崎市立御幸中学校	1月30日	3名
川崎市立川中島中学校	2月5日	2名
川崎市立富士見中学校	2月10日	3名

川崎市立南河原中学校	2月20日	3名
川崎市立川崎中学校	2月26日	3名
計		26名

d ジョブシャドウイング

昨年度に引き続き、学校からの依頼を受け、ジョブシャドウイング生を受入れた。

学 校 名	実 施 日	人 数	備 考
県立鶴見総合高等学校	11月14日	2名	学校依頼

e 見学者の状況

平成26年度は合計で19件、56名の見学者を受け入れた。

特徴ある当館の資料やサービスについて関心がある、座間図書館ボランティア友の会をはじめ図書館利用者の団体、図書館関係者、企業社員等、幅広い見学者が訪れた。

(エ) ホームページの運営

ホームページに展示や講演会のイベントの案内や報告、司書の出番等に42件の情報を掲載し広報に努めた。講座の申込みはホームページからが80%超を占めており利用者に活用されている。

イ 講座等開催事業 (p22 8 平成26年度 講座等実施状況 参照)

(ア) 展示関連イベントの開催

ミニ展示開催時期にテーマに関連した講演会を4回開催した。

(イ) サイエンスカフェの開催

科学者など専門家と県民が気軽に語り合う「サイエンスカフェ」を神奈川県環境科学センター、神奈川県産業技術センター、理化学研究所との共催で4回開催した。多くの申込みがあり、抽選を行う人気のイベントであるが、人数が多すぎて、サイエンスカフェ本来の魅力である講師と参加者の交流が難しくなっている傾向がある。

8月24日に行った「魔女の草を排除せよ」は理化学研究所の提案で高校生対象に行った。夏休み期間ではあったが夏休みが短くなっている傾向にあること、学校開放などの学校行事と重なった場合があったことなど開催時期に課題は残したものの、参加者6名が講師を囲み活発な会話を楽しむことができた。

(ウ) 各種イベントの開催

a 文字・活字文化の日記念講演会

「文字・活字文化振興法」により制定された「文字・活字文化の日(10月27日)」を記念して、毎年講演会を開催しているが、平成26年度は計画していた講演会の時期がずれたため、日程の近いミニ展示関連講演会に冠付けをして開催した。

b 特別講演会

当初「文字・活字文化の日記念講演会」として企画したが、講師の日程に合わせ、12月に特別講演会として開催した。講師は幼少の頃に当館を利用していたとのことで、当館にとっても特別な講演会となった。

c ビジネス支援トーク

ビジネス支援サービスの一環として、多様・多彩で有用なビジネスパーソンに提供するトークイベントとして2回開催した。

d 映像で見るシリーズ

川崎市制90周年にちなんで開催したミニ展示「かわさき区のたからもの」にあわせ、かわさき市民まつり期間中に川崎市や川崎球場、当館を紹介した映像を上映した。

e やさしい科学コーナー関連講座

小学生向けの科学実験教室を「蔵前理科教室 ふしぎ不思議(くらりか)」の協力を得て、3回開催した。そのうち1回は、「かながわサイエンスサマー」、「かながわ子どもわくわく体験」の参加事業として開催した。また「かながわ子どもわくわく体験」の参加事業として、小・中学生向けの科学映画会を「科学技術振興機構サイエンスチャンネル」からDVDを借用して3回開催した。

f 資料の調べ方講座

利用者を対象に文献や情報の調べ方のノウハウ等について分かりやすく解説する講座を2回開催した。1回目は日本パテントデータサービス株式会社の中原幸三氏を講師としてJP-NETの検索について開催した。2回目は昨年度の県民意見を聞く会で要望のあった当館ホームページの文献について解説した。

g 図書館探検ツアー

図書館のバックヤードの業務や施設を紹介する図書館探検ツアーを4回開催した。

探検ツアー終了後に短い時間ではあるが感想やご意見を聞く時間を設けている。

ウ 刊行物の刊行

(ア) 館報「科学EYES」の刊行

当館の館報として科学技術系と自然科学系にテーマを分け「科学EYES」を2回発行した。

論文とあわせ特集テーマに関連した当館所蔵の図書および雑誌記事を掲載した。

(イ) 「テーマ別文献目録」の刊行

最新の話題のもの、新しい知見のもの等をテーマとして、当館所蔵の図書および雑誌記事を集め、文献目録を発行し、あわせてホームページに公開した。

(ウ) その他定期刊行物の発行

当館の事業等の報告をまとめた「平成26年度要覧」を刊行した。

その他として情報誌「S i L - 科学と産業の情報ライブラリーニュース」を4回、「やさしい科学しんぶん」を2回、社史室の広報誌「社楽」を13回刊行した。

刊行物一覧

名称	規格	ページ数	部数	刊行年月
平成 26 年度要覧	A4	41	30	H26.6 月
館報「科学 EYES」 第 56 巻 1 号 「新幹線 50 年」 第 56 巻 2 号 「深海」	A5	各 21	各 900	H26.10 月 H27.3 月
SiL 科学と産業の情報ライブラリーニュース	A4	各 4	各 2,000	H26.4・7・10 月 H27.1 月
テーマ別文献目録 No.50 「3D プリンター」 No.51 「発光ダイオード (LED)」	A4	各 20	各 250	H26.9 月 H27.3 月
やさしい科学しんぶん No.65 「モノ知りになろう！」 No.66 「からだのふしぎ」	A4	各 4	各 500	H26.7 月 H27.2 月
社楽(社史室情報誌) Vol.28 「パンを美味しくする社史」 Vol.29 「初の社史フェア開催！ 社史の講演は 6 月・7 月にも開催！」 Vol.30 「初の社史フェア、大盛況。」 Vol.31 「会社の歴史が消えないように。」 Vol.32 「業界の歴史をまとめた社史。」 Vol.33 「短い社史を探してみました。」 Vol.34 「メタリック調な社史 金属を用いた社史も発見。」 Vol.35 「プロ野球、セリーグの球団の親会社」 Vol.36 「有名な CM の誕生史」 Vol.37 「謹賀新年 羊にちなんだ社史です。」 Vol.38 「バレンタインデーと社史。」 Vol.39 「社史は『あとがき』に注目。編纂委員の想いを込めて。」 Vol.40 「書名が四字熟語の社史。」	A4	各 2	各 500	ほぼ毎月

(5) 図書館運営の条件整備

ア 運営状況の点検・評価

(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営

館長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画・実施している。例年はうち 1 回を当館を会場として開催しているが、26 年度は 25 年度に引き続き、県民センター研修室を会場とし、パネリストとして 2 名の専門家を招き、パネルディスカッション形式で、一般参加者も交えて行った。

開催日	パネリスト	テーマ
11月13日(木) 14:00～16:00	長谷川 豊祐氏 鶴見大学 学術情報事務長 池内 淳氏 筑波大学 准教授 土屋 定夫 県立図書館 調査閲覧課長	パネルディスカッション 「神奈川の県立図書館の明日を考える」

(イ) 県民意見を聞く会の開催

「県民意見を聞く会」単独での開催はしていないが、探検ツアー後に感想やご意見を聞く場を設けている。結果についてはホームページにて公開している。

(ウ) 活動評価の実施、公表

図書館活動について計画 実施 評価 見直しのサイクルを実現し、運営の持続的な改善を図ることを目的として、毎年目標数値を掲げ、活動評価を行っている。平成 26 年度については6つの基本指標のうち、「新規寄贈資料数」「テーマによる資料展示回数」「利用者向けイベント等の参加者数」「ホームページコンテンツの新規作成件数」の4項目は「評価A」、「データベース利用者数」と「メディア掲載件数」は「評価B」であった。その結果は図書館HPにて公開している。

(p.32 9 平成26年度 県立川崎図書館の活動評価 参照)

(エ) 利用調査の実施

平成 25 年 12 月県議会定例会の知事答弁においてK S Pへの移転という方向性が示されたことを受け、利用者ニーズを把握するため、6月3日(火)～6月8日(日)の6日間にアンケートを実施し、572人の方から回答をいただいた。アンケートの結果についてはホームページにて公開している。

また利用実態を把握し図書館運営の参考にするため、県立図書館と共同で9月30日(火)～10月5日(日)の6日間に利用者アンケートを実施し、429人の方から回答をいただいた。アンケートの結果やいただいたご意見に対する対応についてはホームページにて公開している。

(オ) 職員の研修

第2木曜日の館内整理日に職員向けの研修会を行った。

10月9日(木)には「専門家に資料を学ぶ」として元東京工業大学准教授増田一男氏に当館の数学の図書、雑誌を見ての感想や専門家ならではの資料の使い方などを学んだ。

その他、神奈川県図書館協会の研修会に参加した職員が研修内容について報告を行い、情報を共有し、研鑽に努めた。

また、6月16日から27日まで行われた国立教育政策研究所で開催された文部科学省の「図書館司書専門講座」に1名が参加し、終了後、研修内容の全体への報告も実施した。9月2日から5日まで行われた文部科学省の「新任館長研修」に館長が参加し、同様に、研修内容の報告を実施した。

月 日	テーマ	講師
10月9日(木)	専門家に資料を学ぶ 「数学の本」	元東京工業大学 准教授 増田 一男氏

(カ) 職員の研究と発信

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業や、県立の図書館と県立高等学校による連携・協力事業にかかる研修事業で当館職員が講師を担当した。

また他の市町村、図書館関係団体から依頼を受け、研修講師を務めた。

県立図書館主催

月 日	研修名	テーマ等	講 師
7月2日(水)	市町村図書館等職員 基礎研修(県立図書館)	「県立川崎図書館の機能と役割」	科学情報課 副主幹 土屋美恵子
8月5日(金)	県立の図書館と県立高等学校における連携・協力事業にかかる研修	「川崎図書館の特色ある資料とサービス」	科学情報課 副主幹 土屋美恵子
		「科学技術情報の調べ方とレファレンスの考え方」	科学情報課 主査 高田 高史
12月18日(木)	市町村図書館等職員 専門研修	理工系のレファレンスサービス	科学情報課 主査 高田 高史

他団体主催

月 日	派遣先	テーマ等	講 師
7月9日(火)	専門図書館協議会全国研究集会 (機械振興会館)	「社史室の魅力を発信する」	科学情報課 主査 高田 高史
9月24日(火)	広島県立図書館 図書館職員専門研修 (広島県情報プラザ)	講義・演習「レファレンス・サービスの考え方と資料の魅力の引き出し方」	科学情報課 主査 高田 高史
11月17日(月)	大分県立図書館 大分県公共図書館等連絡協議会 公立図書館等職員研修会 (大分県立図書館)	「レファレンス実践講座 ～調べる考え方を磨く」	科学情報課 主査 高田 高史
11月21日(金)	石川県立図書館 石川県公共図書館協議会 図書館実務講習会 (石川県立図書館)	講義・演習「レファレンスサービスの取り組みと考え方」	科学情報課 主査 高田 高史
12月5日(木)	文部科学省・栃木県立図書館 関東・甲信越静地区図書館地区別研修 (栃木県庁・宇都宮市立南図書館)	「レファレンスサービスの考え方」	科学情報課 主査 高田 高史

執筆

雑誌名・巻号・発行年月	テ - マ 等	執 筆 者
専門図書館 No.267	図書館の価値を高める	科学情報課 主査 高田 高史

イ 施設の整備

(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備

利用者に快適な施設環境を提供するため、空調機関係や消防設備の修繕等を行った。

(イ) ISO 14001の推進

環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守するとともに、ガス・電気などの省エネルギーや焼却ゴミの削減等に取り組んだ。

8 平成 26 年度 講座等実施状況

(1) 展 示

ア ミニ展示

テーマ	内 容	開催期間
「橋 - 形と技術 - 」 昨年度から引き 続き展示	橋は生活の中で身近なものであるが、重要な土木構造物でもある。形、大きさ、材料、架ける場所、渡るものもさまざままで、橋をつくるためには、計画、設計、施工にさまざまな技術が使われている。また、地震などの自然災害への対策、安全性も求められる。 知っているようで知らなかった「橋」についての基本的な事項と、神奈川の橋・日本の橋を紹介した。	1月10日 ～ 5月7日
「理科教育・生 命科学の発展を 支える生物」	学校理科教育の実験・実習や最先端の生命科学の研究に利用されている、意外と身近にいて私たちを支えてくれている生物を紹介した。 シロイヌナズナ、アカハライモリ、メダカ等の手作りの模型も紹介した。	5月9日 ～ 8月13日
「かわさき区の たからもの」	川崎区の臨海部を中心に点在する先端的な工場や京浜地区の歴史を今に伝える貴重な産業遺産、川崎駅を中心とした街並みの発展など、色とりどりの「たからもの」を紹介した。あわせて、オリジナルの「県立川崎図書館ペーパークラフト」も配布した。 「川崎市制90周年記念」を冠して開催した。	8月15日 ～ 11月12日
「キノコとその 仲間たち」	キノコは菌類に所属しているが、身近なわりにはあまり知られていない。キノコとは何なのかを紹介するとともに、キノコの仲間であるカビなどの菌類についても併せて展示した。 なお「県立生命の星・地球博物館」からパネルのほかにキノコの標本を提供してもらい、実物を感じる紹介を行った。	11月14日 ～ 2月11日
「ゆるキャラ ^R と 商標」	ゆるキャラをテーマとして、県の知的所有権センター支部としての当館の収集分野でもある「知財（ - 商標）」と関連づけて展示を行った。併せて IPDL から移行される新サービスの「特許情報プラットフォーム（略称：J-PlatPat）」についての紹介も行った。	2月13日 ～ 5月13日

イ ポピュラーサイエンスコーナー展示

テーマ	展示期間
日本 北から南の本 (前年度より引き続き展示)	4月8日～5月7日
ワールドカップブラジル大会 出場国の化学会雑誌	5月9日～7月15日
戦後日本のイノベーション 100選	7月15日～9月16日
鉄	9月16日～10月5日
東海道新幹線50年	10月5日～11月12日
祝 土木学会創立100周年	11月14日～12月28日
電腦社会で身を守る	12月28日～2月11日
川崎図書館で図鑑を楽しむ	2月13日～3月11日
The 北陸	3月13日～3月31日

ウ サイエンス・ナウ(Science Now!)コーナー展示

テーマ	展示期間
水産技術センター100周年	4月20日～5月16日
2014年猿橋賞決定	4月24日～6月13日
さがみロボット産業特区	4月26日～6月9日
坂茂 プリツカー賞受賞	4月29日～5月17日
トキ 初の「純野生」ひな誕生!!	5月16日～6月9日
若田光一さん帰還	5月17日～6月16日
しんかい12000	6月10日～6月24日
W杯ブラジル大会の公式球はぶれにくい	6月13日～7月3日
シャープの技術マイルストーンに認定	6月17日～7月19日
中村栄一氏藤原賞受賞	6月10日～8月7日
日本の植物300種絶滅?	6月25日～7月9日
6月の関東に雹が降る!	7月3日～8月19日
ミドリムシでバスが走る	7月11日～8月17日
海の日×化学グランプリ2014	7月19日～8月30日
2014機械遺産決定!	8月7日～9月7日
日本人初!国際数学連合総帥選出!!	8月19日～9月13日
日本地質学会「県の石」募集	8月17日～9月14日
「フジカラー 写ルンです」未来技術遺産に登録	8月30日～10月29日
最初の星は巨大質量星	9月7日～10月22日
防災	9月13日～10月9日
ラスカー賞 森和俊京都大学院教授 受賞	9月14日～10月25日
イグ・ノーベル賞受賞 バナナの皮は滑る!を証明	9月25日～10月29日
ノーベル物理学賞	10月10日～11月8日
国産旅客機MRJ	10月22日～11月21日
浜松ホトニクスに米学会賞	10月25日～11月23日

はやぶさ 2	10月29日～11月30日
「山崎」世界最高のウイスキーに選出	11月8日～12月5日
彗星探査機フィラエ	11月21日～12月24日
テトラヘドロン賞 辻二郎氏受賞	11月23日～1月10日
和紙無形文化遺産登録決定	11月30日～1月15日
トヨタ女性技術者育成基金	12月5日～1月17日
(科学) 今年の10人	12月24日～1月25日
国内最古！原始鳥類の全身骨格化石発見！！	1月10日～2月6日
問われる日本の食品管理	1月15日～2月8日
インフルエンザの「流行警報」がでました	1月17日～2月12日
太田朋子氏 クラフォード賞を受賞	1月25日～2月12日
高橋裕博士 JAPAN PRIZE 受賞	2月6日～3月3日
メガマウスザメの歯の化石を発見	2月8日～2月24日
昆虫から身を守るため植物は葉緑素を利用していた！	2月13日～3月6日
PET樹脂の原材料を食用に適さないバイオマス資源から作る方法を開発	2月13日～3月7日
新生した嗅細胞は匂い刺激で嗅覚維持	2月24日～3月15日
紅茶成分で骨粗鬆症改善	3月3日～3月15日
第58回日本学生科学賞	3月6日～3月31日
花粉症ってなんだろう	3月7日～3月31日
土星の衛星エンセラダス	3月15日～3月31日
戦艦「武蔵」戦後70年に発見	3月15日～3月31日

エ アプローチ展示 平成26年度開始

テーマ	展示期間
東芝関連図書	4月8日～5月7日
若葉の季節、森林浴に出かけましょう！	5月9日～6月11日
世界遺産登録なるか？ 富岡製糸場	6月13日～8月13日
世界に誇る日本のものづくり	8月15日～9月10日
NHK テレビ小説「マッサン」放送関係	9月12日～10月8日
トヨタ関連図書 2014年は 周年の年	10月10日～11月12日
神奈川の交通	11月14日～12月10日
2012 ヤンマー株式会社 100周年	12月12日～1月7日
品質工学 タグチメソッド	1月9日～2月11日
神奈川の建築	2月13日～3月11日
鈴廣かまぼこ株式会社 150周年	3月13日～3月31日

オ ビジネス本レコメンド展示

テーマ	期間
年度初め 独立・起業を目指す人へ - 積極的なチャレンジを後押しする1冊	4月8日～5月7日

キーワードは「人間関係」 - 上手に聞いてパワー源に！	5月9日～6月11日
夢をチカラに 世界にはばたく！	6月13日～7月9日
“力”をつけて夏を乗り切ろう！ - 力の本集合	7月11日～8月13日
食べることは生きること - 食に関する本集めました	8月15日～9月10日
躍動！中小企業・小規模事業者 - 日本経済の屋台骨を支えます	9月12日～10月8日
小さな中にヒント満載 - 新書・文庫のビジネス本	10月10日～11月12日
つくってつたえる - 文書・企画書・プレゼン資料	11月14日～12月10日
考え方いろいろ - 発想・アイデア・思考	12月12日～1月7日
老舗に学ぶ - 日本は世界一の長寿企業大国！	1月9日～2月11日
失敗は“成長”のもと 失敗にまつわるエトセトラ	2月13日～3月11日
のびる・つながる - 線路も道も会社も人も	3月13日～3月31日

カ やさしい科学コーナー展示

テーマ	展示期間
虫を観察しよう！	4月8日～5月7日
ものづくり探検隊	5月9日～6月11日
歯について調べてみよう	6月13日～7月9日
エルニーニョの夏を過ごす	7月11日～8月13日
自由研究（小学生・中学生）	8月15日～9月10日
秋分の日	9月12日～10月8日
鉄道の日	10月10日～11月12日
だれでもカメラマン！何を撮る？	11月14日～12月10日
ノーベル賞	12月12日～1月7日
車	1月9日～2月11日
色と光の世界	2月13日～3月11日
数学の日	3月13日～3月31日

キ 社史の窓辺展示

テーマ	展示期間
鉄道の社史	4月11日～5月18日
富岡製糸場 世界文化遺産登録勧告	5月9日～9月14日
百貨店の社史	5月18日～8月21日
JFEグループのあゆみ	8月21日～9月14日
分厚い社史	9月14日～11月12日
ピカピカの社史	11月14日～12月16日
第19回優秀会社史賞	12月4日～12月28日
大塚グループの社史	12月16日～12月28日
羊の社史	1月6日～1月31日
節分&バレンタインにまつわる社史	2月1日～2月25日
プロ野球 セリーグの社史	2月25日～3月31日

ク 社史フェア

開催日時	テーマ等	人数
6月25日(水) 13:00～17:00	社史フェア2014 2013年刊行の社史、231社の社史をコメント付きで展示 会場：2階ホール	26名
6月26日(木) 10:00～17:00		36名
6月27日(金) 10:00～17:00		41名
計		103名

(2) 講演会等

ア ミニ展示関連講演会

開催日時	テーマ等	参加人数
7月19日(土) 14:00～16:00	「その研究 マウスで確認できました！」 講師：伊藤 守氏（実験動物中央研究所 副所長）	17名
10月26日(日) 14:00～16:00	<文字・活字文化の日記念講演会> 「川崎駅周辺地区のまちづくり～その発展と今後の展開～」 講師：中井 検裕氏（東京工業大学 教授）	20名
1月24日(土) 14:00～16:00	「きのこ博士の世界放浪記」 講師：保坂 健太郎氏 （国立科学博物館 植物研究部研究員）	44名
2月27日(金) 14:00～16:00	「ゆるキャラ [®] と知的財産権」 講師：穂坂 道子氏 （河野国際特許商標事務所代表 弁理士）	47名
計		128名

イ 社史ができるまで講演会

開催日時	テーマ等	参加人数
5月14日(水) 14:30～16:00	「富士ゼロックス50年のあゆみ」ができるまで 講師：金井 康弘氏 （富士ゼロックス株式会社総務部社史グループグループ長）	59名
6月6日(金) 14:30～16:00	「味の素グループの百年」ができるまで そして、できてから 講師：牛島 康明氏 （味の素株式会社広報部（高輪）博物館・社史担当）	54名
7月4日(金) 14:00～16:00	アクセンチュア50年史「K I S E K I」ができるまで ～迷いと思い、苦労と工夫～ 講師：小川 富士氏 （アクセンチュア株式会社 管理本部）	49名

10月10日(金) 14:30～16:00	「首都高物語 ～都市の道路に夢を託した技術者たち～」ができるまで 講師：池谷 勝之氏 (首都高速道路株式会社 西東京管理局総務部長) 講師：加古 聡一郎氏 (首都高速道路株式会社 西東京管理局保全部長)	40名
10月24日(金) 14:30～16:00	「三洋電機社史」ができるまで 講師：川原 陽子氏 (パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 社史室) (元三洋電機株式会社 経営企画本部 コーポレートコミュニケーショングループ / 元三洋電機アーカイブプロジェクトメンバー)	40名
2月6日(金) 14:30～16:00	「鹿島 創業170年記念誌」ができるまで - 鹿島における「社史」と「記念誌」の違い、そして苦労 - 講師：小田 晶子氏 (鹿島建設株式会社 総務部本社資料センター (社史担当)) (元170年記念誌プロジェクトチーム)	46名
計		288名

ウ サイエンスカフェ

開催日時	テーマ等	参加人数
6月13日(金) 14:00～16:00	「大気汚染の現状と課題」 講師：池貝 隆宏氏 (神奈川県環境科学センター)	30名
8月24日(日) 14:00～16:00	「魔女の草を排除せよ。寄生植物ストライガの撲滅に向けて」 講師：吉田 聡子氏 (理化学研究所 環境資源科学研究センター 植物免疫研究グループ 上級研究員)	6名 (高校生)
11月27日(木) 14:00～16:00	「身近な制御工学 ～家電からロボットまで～」 講師：伊東 圭昌氏 (神奈川県産業技術センター)	34名
3月1日(日) 14:00～16:00	「ただの栄養素？ 世の中が変わるタンパク質研究」 講師：美川 務氏 (理化学研究所 生命システム研究センター 細胞動態計測コア生体分子構造動態研究チーム 専任研究員)	47名
計		117名

エ 特別講演会

開催日時	テーマ等	参加人数
12月7日(日) 14:00～16:00	「海の中で動物たちは何をしているのか？」 - 見えない世界を探るバイオロギング - 講師：佐藤 克文氏 (東京大学 教授)	34名

オ ビジネス支援トーク

開催日時	テーマ等	参加人数
8月23日(土) 14:00～16:00	「『食』は企業の未来を決める - 伸びる社員の『食』の必須条件 - 」 講師：安達 美佐氏 (管理栄養士 栄養サポートネットワーク合同会社代表)	38名
12月6日(土) 14:00～16:00	「脱石油時代、昆虫テクノロジーの産業利用」 講師：長島 孝行氏(東京農業大学 教授)	19名
計		57名

カ 連続上映会 映像で見るシリーズ

開催日	作品名	参加人数
11月2日(日) 10:30～	映像でみる川崎 「映像で紡ぐかわさきの20世紀」2001年	24名
11月2日(日) 13:30～	「川崎球場ものがたり」1996年 「神奈川ニュース No.192 図書館ふたつのニューフェース」 1959年 「川崎市制90周年記念映像」2014年	24名
計		48名

キ やさしい科学コーナー関連講座

開催日時	テーマ等	参加人数
4月26日(土) 午前の部 10:30～12:00 午後の部 14:00～15:30	科学実験教室 「キツツキとトコトコ馬 動くおもちゃで振動について知ろう！」 講師：午前の部 安永 隆志氏 午後の部 広松 猛氏 くらりか(蔵前理科教室 ふしぎ不思議)	午前の部 43名 午後の部 27名
8月2日(土) 午前の部 10:30～12:00 午後の部 14:00～15:30	夏休み科学実験教室 ：「かながわサイエンスサマー」事業 ：「かながわ子どもわくわく体験」事業 「偏光板で万華鏡」 講師：午前の部 劔持 克夫氏 午後の部 中島 正明氏 くらりか(蔵前理科教室 ふしぎ不思議)	午前の部 57名 午後の部 54名

8月6日(水) 10:30~11:30	夏休み科学映画会 ：「かながわ子どもわくわく体験」事業 第1回 「サイエンスバトル」 第2回 「赤ちゃんがいっぱい」 第3回 「しあわせ色の花火」	第1回 33名
8月7日(木) 10:30~11:30		第2回 23名
8月9日(金) 10:30~11:30		第3回 31名
11月29日(土) 午前の部 10:30~12:00 午後の部 14:00~15:30	科学実験教室「化学ペン」 講師：午前の部 小林 正延氏 午後の部 池田 忠俊氏 くらりか(蔵前理科教室 ふしぎ不思議)	午前の部 55名 午後の部 28名
計		351名

ク 資料の調べ方講座

開催日時	テーマ等	参加人数
10月2日(木) 14:00~16:00	資料の調べ方講座 「特許情報の調べ方：J P - N E T 入門編」 講師：中原 幸三氏（日本パテントデータサービス株式会社）	14名
1月14日(水) 14:00~15:30	資料の調べ方講座 「文献の調べ方 H P の活用」 講師：土屋 美恵子副主幹（科学情報課）	13名
計		27名

ケ 図書館探検ツアー

開催日	参加人数
6月22日(日) 10:30~	7名
9月6日(土) 10:30~	13名
12月12日(金) 14:00~	4名
2月15日(日) 10:00~	11名
計	35名

コ パソコン講習会

開催日	講習内容	参加人数
4月13日(日)	文字入力とマウスの使い方	13名
5月10日(土)	はじめよう！インターネット	14名
6月8日(日)	ホームページ作成に挑戦！	15名
7月12日(土)	ホームページ作成に挑戦！	12名
9月13日(土)	エクセル（Excel）に挑戦！（予定表または住所録）	15名
10月12日(日)	エクセル（Excel）に挑戦！（予定表または住所録）	11名

11月8日(土)	Wordで「年賀状(裏面)」作りに挑戦!	11名
12月14日(日)	Wordで「年賀状(裏面)」作りに挑戦!	9名
1月10日(土)	文字入力とマウスの使い方	12名
2月8日(日)	Wordで「案内状」作成に挑戦!	14名
3月14日(土)	はじめよう!インターネット	11名
計		137名

サ かわさき知的財産スクール

開催日時	テーマ等	参加人数
5月21日(水) 14:00~16:00	「中小企業の知財活用。 会社に眠る『お宝』を発掘しよう!」 講師:橋 和之氏(一燈国際特許事務所 所長)	37名
5月28日(水) 14:00~16:00	「自分の名前と同様に、会社の名前(商標)を育て事業に活かそう」 講師:能條 佑敬氏(能條商標事務所 所長)	31名
6月4日(水) 14:00~16:00	「意匠登録によるブランド戦略(意匠の基礎知識)」 講師:渡部 仁氏(将星国際特許事務所 所長)	39名
6月18日(水) 14:00~16:00	「知財武装とクリアランス実践 特許・商標調査」 ~商品化・事業化までにどんな調査が必要か! 前編 講師:横田 健一郎氏(双京知的財産事務所) 太田 洋子氏(双京知的財産事務所 所長)	27名
7月9日(水) 14:00~16:00	「知財武装とクリアランス実践 特許・商標調査」 ~商品化・事業化までにどんな調査が必要か! 後編 講師:横田 健一郎氏(双京知的財産事務所) 太田 洋子氏(双京知的財産事務所 所長)	30名
7月9日(水) 14:00~16:00	「他社知財を活用したオープンイノベーション及びライセンス契約のポイント」 講師:高橋 光一氏(川崎市知的財産アドバイザー)	37名
計		201名

シ 戦略的知財マネジメント促進事業 知的財産セミナー

開催日時	テーマ等	参加人数
1月21日(水) 13:30~16:30	「国際ビジネスのための外国特許入門~これから外国特許権の取得を考える方のための基礎知識と実務~」 講師:山口 和弘氏(弁理士 創英国際特許法律事務所)	34名
2月25日(水) 13:30~16:30	「海外特許検索基礎演習 ~Espacenetの使い方入門編~」 講師:横田 健一郎氏(双京知的財産事務所) 講師:太田 洋子氏(双京知的財産事務所)	20名
計		54名

ス 図書館で学ぶ知的財産講座

開催日時	テーマ等	参加人数
9月17日(水) 14:00～16:00	「秘密保持契約についての実務上の留意点」 講師：田野 賢太郎氏（弁護士 横浜弁護士会）	46名
9月24日(水) 14:00～16:00	「知的財産に関する訴訟の手続き～知的訴訟の前提となる民法、民事訴訟法の知識を中心として～」 講師：岡田 健太郎氏（弁護士 横浜弁護士会）	44名
10月15日(水) 14:00～16:00	「特許明細書の書き方 ～特許法第36条の拒絶理由を受けないために～」 講師：木下 茂氏（弁理士 日本弁理士会関東支部）	34名
10月29日(水) 14:00～16:00	「ここが落とし穴だよ著作権」 講師：高原 千鶴子氏（弁理士 日本弁理士会関東支部）	42名
11月12日(水) 14:00～16:00	「権利とは？ いかにか知財と付き合っていくか」 講師：加根魯 和宏氏（神奈川県発明協会）	33名
計		199名

9 平成26年度 県立川崎図書館の活動評価

神奈川県立川崎図書館は、図書館活動について計画 実施 評価 見直しのサイクルを実現し、運営の持続的な改善を図ることを目的として活動評価を行っております。

平成26年度は、前年度に引き続き、図書館サービスの質的向上を図るため、活動の目標として、それぞれ達成すべき数値目標を設定し、全館をあげて目標達成に向けて事業展開に取り組んでまいりました。

このたび、平成26年度の活動実績を踏まえて、活動評価をまとめましたので、公表いたします。

活動評価の概要

平成26年度の活動評価としては、6つの基本指標のうち、「新規寄贈資料数」「テーマによる資料展示回数」、「利用者向けイベント等の参加者数」、「ホームページコンテンツの新規作成件数」の4項目は「評価A」、「データベース利用者数」と「メディア掲載件数」は「評価B」となりました。

基本指標	数値目標	活動実績	目標達成率	評価
新規寄贈資料数	430点	483点	112.3%	A
データベース利用者数	1,000人	838人	83.8%	B
テーマによる資料展示回数	120回	123回	102.5%	A
利用者向けイベント等の参加者数	1,700人	1,814人	106.7%	A
ホームページコンテンツの新規作成件数	40件	42件	105.0%	A
メディア掲載件数	60件	60件	100.0%	B

評価は、概括的にA、B、C、Dの4段階評価とし、各レベルを下記のとおりとしました。原則として、数値目標との比較で判断しましたが、各目標の達成に向けた取組内容や標準的な活動レベルとの比較を加味しました。

評価A：数値目標を達成し、高いレベルで活動が展開されている

評価B：数値目標をほぼ達成し、やや高いレベルでの活動が展開されている

評価C：数値目標を達成していないが、標準的なレベルでの活動は展開されている

評価D：数値目標を達成できず、標準的なレベルにも達していない

基本指標 新規寄贈資料数 - 目標達成率112.3%

- ・ 新規資料として、社史430点、逐次刊行物53タイトル、合計483点を受け入れることができました。目標数値を超えて、目標達成率112.3%となりましたので「評価A」としました。
- ・ 社史は刊行した企業からだけでなく、研究所、出版社等からも複数冊ご寄贈いただくことができました。

<今後の改善点>

- ・ 多くが非売品で入手の難しい社史については、相手方に当館の特色を理解していただいた上で、ご寄贈につながるように努め、社史コレクションをさらに充実させていきます。

基本指標 データベース利用者数 - 目標達成率83.8%

- ・ データベース利用人数は、「官報」データベースの契約中止もあって、数値目標の目標達成率83.8%と目標を達成できませんでしたので「評価B」としました。
- ・ 特許検索に関しては、インタ-ネットの普及等により、前年度比21%程度の減少となりました。

<今後の改善点>

- ・ 当館ならではのデータベース提供を積極的にPRし、利用者の拡大に努めます。
- ・ 利用者対象に「資料の調べ方講座」を開催するなど、文献検索データベースの利活用と普及に努めます。
- ・ 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の広報に努め、活用と普及に努めます。

基本指標 テーマによる資料展示回数 - 目標達成率102.5%

- ・ テーマによる資料展示回数は、数値目標を達成しました。目標数値を超えて、目標達成率102.5%となり、平成25年度の実績も上回ることができましたので「評価A」としました。
- ・ 図書館活動の核と位置づけている2階での展示は「理科教育・生命科学の発展を支える生物」「かわさき区の宝物」「キノコとその仲間たち」「ゆるキャラ^Rと商標」を開催し、関係機関の協力のもと、図書館資料の魅力の発信に努めました。
- ・ 「サイエンス・ナウ(Science Now!) コーナー」などにおいて、話題性のあるテーマでタイムリーな情報提供のできる展示を工夫し、「いつも何か面白いことのある」川崎図書館の演出に努めました。
- ・ 新たに図書館1階で「アプローチ展示」を開始し、所蔵資料を手にとって見ていただけるように努めました。

<今後の改善点>

- ・ これからもテーマに基づいて図書館が主体的に編集・加工した「コレクション構築展示」として、利用者の価値創造に役立つ「知の編集」を行い、発信していきます。
- ・ 科学と産業技術分野に関する社会的動向に注目し、さらに魅力的な展示を企画・実行していきます。

基本指標 利用者向けイベント等の参加者数 - 目標達成率106.7%

- ・ 利用者向けイベント等の参加者数は、数値目標を達成しました。目標数値を超えて、目標達成率106.7%となり、平成25年度の実績も上回ることができましたので「評価A」としました。
- ・ 新たに「社史フェア」を開催したり、「社史のできるまでシリーズ」を連続講座として6回開催するなどして、目標数値を超えることができました。

<今後の改善点>

- ・ 利用者のニーズを先取りしたタイムリーで魅力のある講演会などを開催するとともに、開催にあたっては、より多くの方に参加いただけるよう、様々な広報媒体を活用して積極的な情報発信に努めます。
- ・ 「さくらネット」と「パソコン講習会」、「くらしか」と「こどものための科学実験教室」、「発明協会」と「発明相談」、「けいしん」と「創業・経営相談」等、長年協力を得ている関係団体と、多彩な講習会や相談を継続して開催していきます。

基本指標 ホームページコンテンツの新規作成件数 - 目標達成率105.0%

- ・ ホームページコンテンツの新規作成件数は、数値目標を達成しました。目標数値を超えて、目標達成率 105.0%となり、平成 25 年度実績も上回ることができましたので「評価 A」としました。
- ・ ブログ風の記事「司書の出番」に積極的に記事を掲載し、「科学 E Y E S」の文献目録も掲載しました。また、気軽な情報発信として位置づけているため、この数値には含めていませんが、「クリッピング」には 62 件を掲載し、川崎図書館を身近に感じていただけるよう努めました。

<今後の改善点>

- ・ 効果的な広報媒体として、図書館ホームページを活用し、いっそうの充実に努めます。

基本指標 メディア掲載件数 - 目標達成率100.0%

- ・ メディア掲載件数は 60 件と、数値目標を達成できましたが、平成 25 年とほぼ同様の数値にとどまりましたので、「評価 B」としました。
- ・ ミニ展示と関連講演会がのべ 13 件、社史フェアが 6 件、社史ができるまで講演会がのべ 14 件、新聞等のメディアにとりあげられました。

<今後の改善点>

- ・ 魅力的なイベントを企画し、その情報を積極的に提供していきます。
- ・ 当館の認知度を高めることを常に意識して、積極的な情報発信を心がけていきます。

事業統計

第1表 部門別蔵書冊数

区 分	25年度末 冊 数	受 入						払 出	差 引 減 増	26年度 冊 数	分類別 比率(%)
		購 入	寄 贈	管 理 換	編 入	そ の 他	小 計				
0 総 記	15,053	76	19	0	0	1	96	24	72	15,125	5.9%
1 哲 学	292	0	15	0	0	0	15	1	14	306	0.1%
2 歴 史	6,407	29	40	0	0	0	69	4	65	6,472	2.5%
3 社 会 科 学	14,447	46	59	6	0	0	111	57	54	14,501	5.7%
4 自 然 科 学	51,718	399	105	24	0	2	530	82	448	52,166	20.4%
5 技 術 ・ 工 学	111,684	654	479	119	0	0	1,252	99	1,153	112,837	44.2%
6 産 業	14,326	70	97	1	0	0	168	10	158	14,484	5.7%
7 芸 術 ・ 美 術	328	1	1	1	0	0	3	2	1	329	0.1%
8 言 語	536	1	0	0	0	0	1	1	0	536	0.2%
9 文 学	2,626	0	0	0	0	0	0	4	-4	2,622	1.0%
社 史 等	17,072	6	430	0	0	0	436	0	436	17,508	6.9%
小 計	234,489	1,282	1,245	151	0	3	2,681	284	2,397	236,886	92.8%
やさしい科学	12,361	135	35	0	0	1	171	12	159	12,520	4.9%
規格・抄録	5,884	73	5	0	0	0	78	0	78	5,962	2.3%
合 計	252,734	1,490	1,285	151	0	4	2,930	296	2,634	255,368	100.0%
(洋 書)	(6,337)	(0)	(9)	(0)	(0)	(0)	(9)	(1)	(8)	(6,345)	(2.5%)
前年度増減数	-	2,084	1,248	0	0	10	3,342	274	3,068	-	-

洋書は()に内数で記入

第2表 逐次刊行物保有状況

ア.新 聞

25年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	26年度末タイトル数	う ち 継 続 収 集	
					購 入	寄 贈
47	0	0	0	47	10	19

イ.雑 誌

25年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	26年度末タイトル数	う ち 継 続 収 集	
					購 入	寄 贈
8,603	53	18	35	8,638	512	1,586
(2,128)	(32)	(0)	(32)	(2,160)	(2)	(95)

洋雑誌は()に内数で記入

第3表 CD - ROM 保有状況

区 分	25年度末数	受 入	払 出	26年度末数
規 格 ・ 特 許 関 連	36	0	0	36
新 聞	1	0	0	1
科学技術文献速報	12	0	0	12
そ の 他	0	0	0	0
計	49	0	0	49

第4表 視聴覚資料保有状況

ア. 個人貸出用

区分	25年度末数	受 入					払 出	26年度末数
		購 入	寄 贈	管 理 換	そ の 他	計		
資料 ビデオ・DVD	1,287	0	0	0	0	0	16	1,271

イ. 団体貸出用

区分	25年度末数	受 入					払 出	26年度末数
		購 入	寄 贈	管 理 換	そ の 他	計		
資 料	ビデオテープ	242	0	0	0	0	0	242
	D V D	55	5	0	0	0	5	60
	合 計	297	5	0	0	0	5	302

第5表 開館日数・入館者数

区分	月 別												合 計	
	26年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月		
開館日数	19	27	24	27	26	25	27	27	23	23	23	25	296	
入館者数	10,630	14,208	13,777	17,313	17,363	13,612	13,539	14,118	11,364	11,729	12,343	12,919	162,915	
1日平均	559.5	526.2	574.0	641.2	667.8	544.5	501.4	522.9	494.1	510.0	536.7	516.8	550.4	
内 訳	科学技術室	4,103	5,365	5,291	7,250	6,967	5,420	5,158	5,649	4,697	5,216	5,538	5,629	66,283
	社 史 室	527	607	661	704	505	453	659	461	498	209	236	217	5,737
	ビジネス支援室	6,000	8,236	7,825	9,359	9,891	7,739	7,722	8,008	6,169	6,304	6,569	7,073	90,895
前年度入館者数	11,282	15,355	15,141	19,292	21,610	18,200	15,652	15,746	13,173	13,035	12,188	13,376	184,050	
前年度1日平均	593.8	568.7	605.6	742.0	831.2	700.0	579.7	605.6	548.9	566.7	529.9	535.0	619.7	

第6表 レファレンス件数

区分	月 別												合 計	比率(%)	
	26年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月			
質問件数	717	1,032	851	848	867	692	733	708	656	624	653	684	9,065	100%	
1日平均	37.7	38.2	35.5	31.4	33.3	27.7	27.1	26.2	28.5	27.1	28.4	27.4	30.6	-	
内 訳	自然科学	57	117	101	103	117	95	84	80	72	59	48	77	1,010	11.1%
	工学・産業	215	345	239	228	239	204	233	225	228	156	208	229	2,749	30.3%
	社会・人文科学	55	52	62	92	81	49	74	56	38	51	54	43	707	7.8%
	社 史	49	43	57	38	31	27	32	25	34	44	47	43	470	5.2%
	調べ方案内	333	471	386	383	397	315	307	319	283	308	294	291	4,087	45.1%
	ビジネス	8	4	6	4	2	2	3	3	1	6	2	1	42	0.5%
方 法	口 頭	576	862	699	707	717	573	577	576	515	500	478	561	7,341	81.0%
	電 話	135	164	127	134	141	106	145	118	114	114	153	101	1,552	17.1%
	文 書	1	0	2	2	1	6	3	2	3	0	4	1	25	0.3%
	メ - ル	5	6	23	5	8	7	8	12	24	10	18	21	147	1.6%
前年度件数	539	782	647	730	812	619	641	880	736	682	704	651	8,423	-	
前年度1日平均	28.4	29.0	25.9	28.1	31.2	23.8	23.7	33.8	30.7	29.7	30.6	26.0	28.4	-	

協カレファレンス件数

区分	26年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	合 計
質問件数	3	7	3	10	3	10	5	4	3	3	3	3	57
前年度件数	0	8	8	10	5	5	6	5	6	8	2	3	66

第7表 書庫内資料利用数

区 分	月 別	26年												合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	
総	数	7,049	7,508	9,203	4,375	6,414	5,827	6,441	4,331	7,062	7,453	7,855	7,257	80,775
1	日 平 均	371.0	278.1	383.5	162.0	246.7	233.1	238.6	160.4	307.0	324.0	341.5	290.3	272.9
内 訳	図 書	541	572	554	707	490	536	614	527	584	535	540	395	6,595
	雑 誌	6,375	6,812	8,579	3,558	5,813	5,198	5,733	3,682	6,332	6,765	7,212	6,720	72,779
	(洋 雑 誌)	(29)	(104)	(101)	(94)	(180)	(30)	(86)	(42)	(309)	(151)	(84)	(221)	(1,431)
	新 聞	131	106	70	105	108	90	94	111	96	112	93	137	1,253
	やさしい科学	2	18	0	5	3	3	0	11	50	41	10	5	148
前 年 度 総 数		4,916	9,888	11,786	7,384	7,820	7,746	5,773	6,555	5,984	8,033	6,244	4,427	86,556

洋雑誌は()に内数で記入

第8表 データベース利用数

区 分	月 別	26年												合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	
日 経 テ レ コ ン	21	9	8	5	13	13	21	7	7	6	9	6	3	107
J D r e e a (文 速 W e b 含 む)		13	5	21	15	19	19	11	17	11	14	7	12	164
C i N i i		6	7	12	4	12	8	10	9	10	11	8	1	98
国 会 デ ジ タ ル		8	4	10	14	14	8	9	12	3	5	4	5	96
計		36	24	48	46	58	56	37	45	30	39	25	21	465
前 年 度		41	41	36	44	41	43	37	34	53	40	36	37	483

第9表 特許データベース利用数

区 分	月 別	26年												合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	
JP - NET	利 用 人 数	9	12	22	11	13	14	22	26	17	18	16	20	200
	複 写 枚 数	8	176	1,518	98	23	299	1,064	901	1,120	339	694	562	6,802
インターネット (IPDL 等)	利 用 人 数	6	8	13	14	13	10	21	21	17	17	16	17	173
	複 写 枚 数	105	8	262	96	849	9	177	411	345	556	65	355	3,238
計	利 用 人 数	15	20	35	25	26	24	43	47	34	35	32	37	373
	複 写 枚 数	113	184	1,780	194	872	308	1,241	1,312	1,465	895	759	917	10,040
前 年 度	利 用 人 数	30	42	32	45	47	43	37	37	41	53	31	36	474
	複 写 枚 数	758	295	680	250	812	520	1,519	266	1,496	646	697	1,276	9,215

第10表 個人貸出登録者数

両館の登録者数

区 分	25年度末	登録削除数	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	合 計	26年度末
登録者数	27,549	5,631	317	408	343	444	426	317	321	377	313	388	355	306	4,315	26,233

当館の登録者数

区 分	25年度末	登録削除数	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	合 計	26年度末
登録者数	8,979	1,780	133	140	120	130	160	96	108	102	92	107	118	88	1,394	8,593
内一般	8,768	1,727	131	137	115	124	146	94	100	99	92	107	117	88	1,350	8,391
児童	211	53	2	3	5	6	14	2	8	3	0	0	1	0	44	202

県立図書館登録者数

区 分	25年度末	登録削除数	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	合 計	26年度末
登録者数	18,570	3,851	184	268	223	314	266	221	213	275	221	281	237	218	2,921	17,640
(横浜西口カフ-登録数)内数			(10)	(14)	(17)	(18)	(15)	(19)	(26)	(18)	(12)	(18)	(19)	(29)	(215)	(944)

第11表 個人貸出冊数

月別 区分	26年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	合計	分類別 比率(%)	前年度 貸出冊数	
貸出冊数	3,048	3,783	3,472	3,701	3,936	3,362	2,879	3,592	3,447	3,262	3,246	3,516	41,244	100%	46,631	
1日平均	160.4	140.1	144.7	137.1	151.4	134.5	106.6	133.0	149.9	141.8	141.1	140.6	139.3	-	157.0	
内 部 門 別	一般図書	2,701	3,434	3,026	3,149	3,290	3,014	2,551	3,221	3,070	2,925	2,939	3,142	36,462	88.4%	41,242
	0 総記	383	501	375	380	389	354	251	398	398	419	441	478	4,767	11.6%	5,651
	1 哲学	35	51	40	41	46	29	50	32	33	47	63	69	536	1.3%	683
	2 歴史	115	101	138	160	123	112	135	141	145	113	97	100	1,480	3.6%	1,572
	3 社会科学	202	220	205	175	187	243	221	230	197	184	195	271	2,530	6.1%	3,229
	4 自然科学	639	867	837	954	961	750	607	708	750	727	617	738	9,155	22.2%	9,867
	5 技術・工学	1,090	1,357	1,114	1,161	1,268	1,180	1,041	1,314	1,247	1,130	1,238	1,182	14,322	34.7%	16,413
	6 産業	138	225	206	159	161	248	125	282	194	187	164	183	2,272	5.5%	2,521
	7 芸術・美術	42	40	28	43	36	42	49	47	57	51	57	39	531	1.3%	492
	8 言語	18	12	2	9	18	4	7	13	4	9	8	11	115	0.3%	92
9 文学	39	60	81	67	101	52	65	56	45	58	59	71	754	1.8%	722	
社史等	152	139	161	206	142	106	135	127	186	105	154	194	1,807	4.4%	2,380	
やさしい科学	195	210	285	346	504	242	193	244	191	232	153	180	2,975	7.2%	3,009	
前年度貸出冊数	3,415	4,221	4,151	3,871	4,300	3,996	3,943	4,089	3,983	3,822	3,321	3,519	46,631	-	-	
前年度1日平均	179.7	156.3	166.0	148.9	165.4	153.7	146.0	157.3	166.0	166.2	144.4	140.8	157.0	-	-	

第12表 リクエスト・サービス

月別 区分	26年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	合計	比率(%)	
総数	757	954	735	764	713	789	779	618	656	782	821	835	9,203	100%	
内 部 別	自然科学	95	139	129	141	104	137	112	108	82	133	105	118	1,403	15.2%
	工学・産業	268	350	270	231	247	232	254	167	232	263	303	279	3,096	33.6%
	社会・人文科学	391	446	335	384	357	390	403	336	328	374	397	430	4,571	49.7%
	社史等	3	19	1	8	5	30	10	7	14	12	16	8	133	1.4%
	返却待	313	461	299	288	328	309	306	229	279	350	334	357	3,853	41.9%
	購入	0	2	1	2	0	0	1	0	1	3	1	3	14	0.2%
	他館から借受	383	451	345	407	375	367	410	330	308	359	428	452	4,615	50.1%
	(県立)	(337)	(383)	(271)	(324)	(319)	(298)	(348)	(290)	(255)	(313)	(350)	(389)	(3,877)	(42.1%)
	(市町村)	(45)	(53)	(70)	(73)	(51)	(57)	(54)	(36)	(46)	(42)	(72)	(58)	(657)	(7.1%)
	(県内機関その他)	(1)	(11)	(4)	(8)	(4)	(12)	(8)	(4)	(5)	(0)	(4)	(3)	(64)	(0.7%)
(県外)	(0)	(4)	(0)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(2)	(4)	(2)	(2)	(17)	(0.2%)	
取消等	61	40	90	67	10	113	62	59	68	70	58	23	721	7.8%	
前年度総数	739	820	888	818	709	846	830	793	765	819	671	790	9,488	-	

() は内数

第13表 複写サービス

区分	月別	26年												合計	比率(%)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
総数	人数	661	715	683	755	680	673	811	708	632	708	725	709	8,460	100%	
	枚数	12,457	13,064	14,858	15,519	13,559	12,289	17,626	14,052	16,244	15,914	15,858	17,092	178,532	100%	
1日平均	人数	34.8	26.5	28.5	28.0	26.2	26.9	30.0	26.2	27.5	30.8	31.5	28.4	28.6	-	
	枚数	655.6	483.9	619.1	574.8	521.5	491.6	652.8	520.4	706.3	691.9	689.5	683.7	603.1	-	
内訳	コピー	人数	414	426	394	449	417	382	466	426	378	401	442	422	5,017	59.3%
		枚数	9,045	9,113	8,718	10,712	9,004	8,332	12,507	9,001	10,957	9,337	10,390	11,413	118,529	66.4%
	データベース等	人数	167	199	202	215	196	207	228	205	172	209	191	217	2,408	28.5%
		枚数	1,976	2,574	4,617	3,361	3,201	2,569	3,499	3,617	3,715	4,797	4,065	4,373	42,364	23.7%
	国デジタ	人数	8	1	4	8	4	3	5	9	3	1	4	3	53	0.6%
		枚数	209	21	135	124	110	27	93	427	130	4	63	181	1,524	0.9%
	郵送	人数	71	83	76	80	63	78	107	65	76	91	88	66	944	11.2%
		枚数	1,218	1,310	1,297	1,222	1,244	1,346	1,476	990	1,432	1,738	1,340	1,111	15,724	8.8%
	ファクシミリ	人数	1	6	7	3	0	3	5	3	3	6	0	1	38	0.4%
		枚数	9	46	91	100	0	15	51	17	10	38	0	14	391	0.2%
前年度総数	人数	635	846	798	770	795	744	765	733	776	765	660	659	8,946	-	
	枚数	12,160	16,636	14,601	15,645	15,188	13,829	16,639	13,605	16,175	17,281	15,847	14,676	182,282	-	

データベース等の数はオンライン、CD-ROM資料のプリンター出力による複写申込人数及び枚数

(平成27年10月1日 一部訂正)

第14表 講習会・講座・講演会等

(1) パソコン講習会

区分	月別	26年												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開催回数		1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
参加人数		13	14	15	12	0	15	11	11	9	12	14	11	137
前年度	実施回数	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
	参加人数	13	14	15	15	0	18	17	14	12	12	12	14	156

(2) 講座・講演会等

区分	月別	26年												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開催回数		2	3	6	4	7	3	6	6	3	3	4	1	48
参加人数		70	127	260	133	242	103	190	198	57	91	123	47	1,641
前年度	実施回数	2	3	5	5	5	4	6	9	7	3	3	3	55
	参加人数	102	119	94	142	195	153	136	233	139	57	63	137	1,570

第15表 ビジネス支援相談件数

(1) 発明相談

区 分	26年			27年			合 計							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開 催 回 数	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	10	
実 施 回 数	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	10	
利 用 者 数	1	2	2	3	4	0	2	1	0	0	3	2	20	
相 談 件 数	1	4	2	4	7	0	3	1	0	0	5	3	30	
内 訳	特許・実用新案	1	4	2	4	6	0	2	1	0	0	2	3	25
	意匠・商標	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
	分類・調査・制度他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
前年度開催数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
前年度実施回数	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	8	
前年度利用者数	0	4	3	0	1	1	2	0	2	3	3	0	19	
前年度相談件数	0	4	3	0	2	2	3	0	8	3	3	0	28	

実施回数は開催回数のうち、実際に相談があった日数

(2) 創業・経営相談

創 業 ・ 経 営 相 談	26年			27年			合 計						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
開 催 回 数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
実 施 回 数	2	1	1	1	1	0	2	1	0	0	1	1	11
利 用 者 数	2	3	3	1	1	0	2	1	0	0	2	1	16
相 談 件 数	2	3	3	1	1	0	2	1	0	0	2	1	16
前年度開催数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
前年度実施回数	2	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	0	11
前年度利用者数	2	0	0	1	2	1	1	1	2	1	2	0	13
前年度相談件数	2	0	0	1	2	1	1	1	2	1	2	0	13

第16表 視聴覚資料

(1) 個人貸出状況

区分	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	合計
ビジネス関連ビデオ	14	12	8	0	0	0	8	0	0	0	0	10	52
科学技術ビデオ	3	0	9	1	15	1	11	9	0	0	2	6	57
県立図書館所蔵資料	281	309	290	405	450	410	533	356	234	242	257	420	4,187
計	298	321	307	406	465	411	552	365	234	242	259	436	4,296
前年度総数	125	174	158	189	155	179	155	178	138	143	142	358	2,094

(2) 団体貸出状況

区分	25年度末	期限切れ	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	年度合計	26年度末
登録者	249	128	14	11	32	10	11	12	10	9	5	4	6	6	130	251

区分	26年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		27年1月		2月		3月		合計		
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数
ビデオ	33	22	32	20	51	25	41	16	29	33	40	19	35	18	36	29	27	6	21	3	16	11	27	12	388	214	
DVD		97		81		100		79		54		76		71		58		47		44		27		56			790
上映回数	215		164		173		182		170		158		191		129		89		60		75		104		1,710		
参加人数	3,015		3,907		5,360		4,129		2,344		3,856		4,594		4,652		2,155		1,695		824		2,149		38,680		
前年度	37	42	43	46	58	54	55	66	25	14	34	30	44	42	32	22	29	21	25	20	24	16	29	13	435	386	
		DVD		70		77		91		69		37		64		82		59		49		46		51			72
上映回数	189		186		230		218		87		169		260		132		95		95		133		179		1,973		
参加人数	2,106		3,264		6,050		4,757		1,870		2,110		8,134		2,238		2,116		1,979		903		3,690		39,217		

第17表 ITコーナー利用数(1階)

区分	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	合計
利用人数	545	728	579	769	667	677	681	657	556	552	569	670	7,650

第18表 インターネット情報検索コーナー利用数(3階)

区分	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	合計
利用人数	69	142	108	145	132	131	125	139	112	132	116	107	1,458

第19表 他の図書館等への貸出状況

月 別		26年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年	2月	3月	合計	
		4月									1月				
区 分		824	972	750	925	863	855	849	775	777	937	802	846	10,175	
機 関 別	公 共 図 書 館	505	541	408	508	433	427	379	382	380	459	345	407	5,174	
	内 訳	県 立 図 書 館	242	264	193	196	169	183	161	166	173	190	113	164	2,214
		市 町 村 立 図 書 館 等	244	248	198	267	235	216	194	191	185	245	215	222	2,660
		県 外 の 図 書 館	19	29	17	45	29	28	24	25	22	24	17	21	300
	横 浜 西 口 カ ウ ン タ ー	281	364	275	371	390	380	398	335	358	397	390	410	4,349	
	企 業 ラ イ ブ ラ リ ー 等	25	26	34	23	12	24	25	23	8	23	32	20	275	
	科 学 技 術 文 献 相 互 利 用 等	6	12	10	9	2	8	8	25	1	5	10	6	102	
	高 校 連 携	3	17	21	11	13	14	33	3	16	42	17	1	191	
	大 学	2	5	1	3	9	2	6	5	6	6	8	1	54	
	庁 内 利 用	1	6	0	0	4	0	0	1	8	5	0	0	25	
	N A C S I S - I L L	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5
前 年 度 貸 出 冊 数	893	918	866	882	985	868	912	945	873	935	861	814	10,752		

第 20 表 年度別蔵書冊数

	蔵書冊数	増減
昭和 33 年度	16,075	-
34	28,090	12,015
35	36,789	8,699
36	44,682	7,893
37	53,486	8,804
38	63,876	10,390
39	71,711	7,835
40	79,701	7,990
41	89,317	9,616
42	99,497	10,180
43	109,870	10,373
44	120,816	10,946
45	137,375	16,559
46	152,181	14,806
47	166,087	13,906
48	182,152	16,065
49	199,488	17,336
50	209,336	9,848
51	218,928	9,592
52	229,077	10,149
53	238,809	9,732
54	235,621	3,188
55	232,394	3,227
56	233,064	670
57	226,921	6,143
58	228,885	1,964
59	228,108	777
60	221,650	6,458
61	220,327	1,323
62	217,371	2,956
63	215,189	2,182
平成 元 年度	218,584	3,395
2	223,071	4,487
3	234,166	11,095
4	244,658	10,492
5	251,381	6,723
6	256,398	5,017
7	250,362	6,036
8	242,713	7,649
9	190,111	52,602
10	191,949	1,838
11	195,731	3,782
12	201,259	5,528
13	206,840	5,581
14	211,853	5,013
15	217,546	5,693
16	223,151	5,605
17	224,615	1,464
18	231,386	6,771
19	233,312	1,926
20	236,900	3,588
21	241,823	4,923
22	245,994	4,171
23	246,191	197
24	249,666	3,475
25	252,734	3,068
26	255,368	2,634

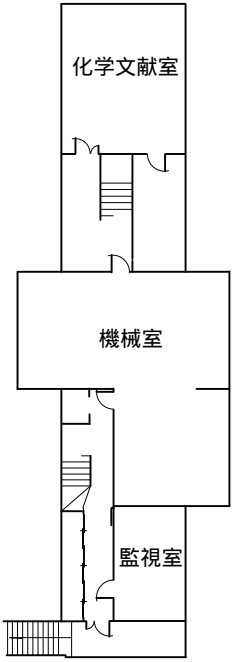
第 21 表 年度別入館者数・個人貸出冊数

	開館日数	入館者数	貸出冊数
昭和 33 年度	63	27,488	-
34	278	142,623	2,068
35	277	120,484	28,196
36	253	129,667	26,309
37	275	163,146	34,424
38	275	162,612	31,530
39	277	155,305	29,810
40	276	155,298	33,868
41	270	150,743	35,873
42	272	142,266	30,722
43	269	132,809	31,591
44	271	137,863	40,312
45	260	127,299	45,406
46	260	142,256	56,913
47	271	157,499	72,217
48	271	150,620	81,218
49	270	159,838	93,715
50	272	168,383	108,517
51	270	159,802	107,627
52	271	158,010	113,604
53	271	168,196	102,747
54	271	154,982	88,085
55	271	135,158	88,376
56	255	133,192	89,106
57	251	120,037	91,691
58	272	189,379	144,147
59	271	212,619	150,051
60	259 (134)	139,462 (27,648)	103,860 (36,670)
61	284	206,834	134,555
62	273	184,991	130,342
63	270	170,319	125,356
平成 元 年度	260	208,760	125,144
2	269	220,182	131,067
3	271	226,191	143,782
4	271	245,524	152,221
5	269	251,552	144,381
6	269	255,704	134,407
7	270	222,138	85,679
8	268	203,885	72,182
9	202	146,654	41,063
10	270	143,044	26,077
11	258	138,204	24,459
12	280	136,643	32,621
13	282	142,925	33,040
14	282	147,532	35,432
15	284	140,533	34,589
16	284	133,195	29,974
17	284	184,493	30,331
18	289	206,364	37,178
19	290	192,762	40,594
20	296	212,930	43,926
21	296	229,150	47,794
22	291	215,929	47,324
23	294	205,122	48,646
24	296	195,413	47,838
25	297	184,050	46,631
26	296	162,915	41,244

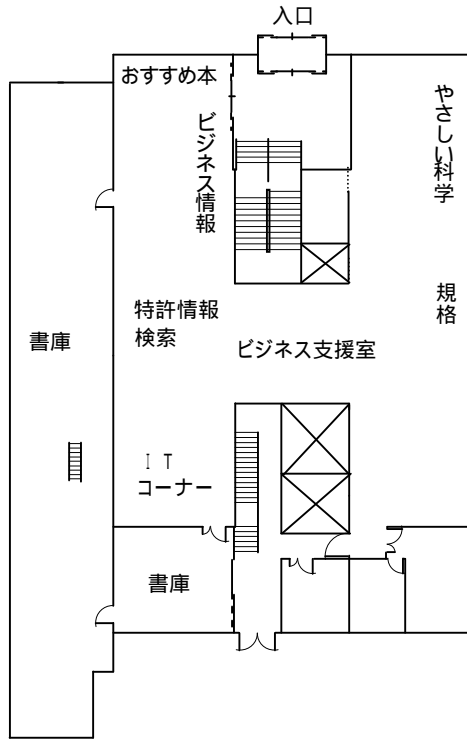
昭和 60 年度仮設図書館における開館日数、貸出冊数は()内に内数で記入
平成 9 年度は、リニューアルのため 12 月から一部休館、1 月から全面休館

館内案内図

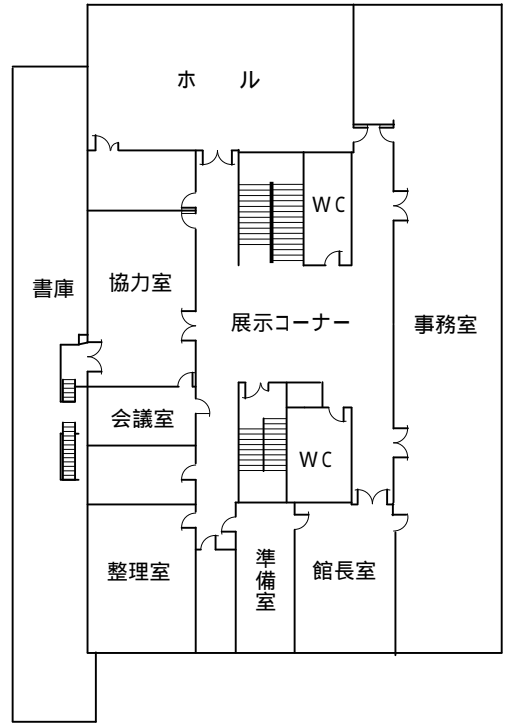
地階



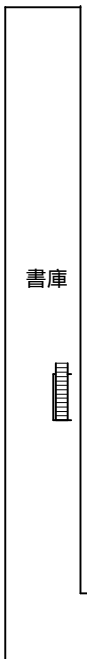
1階



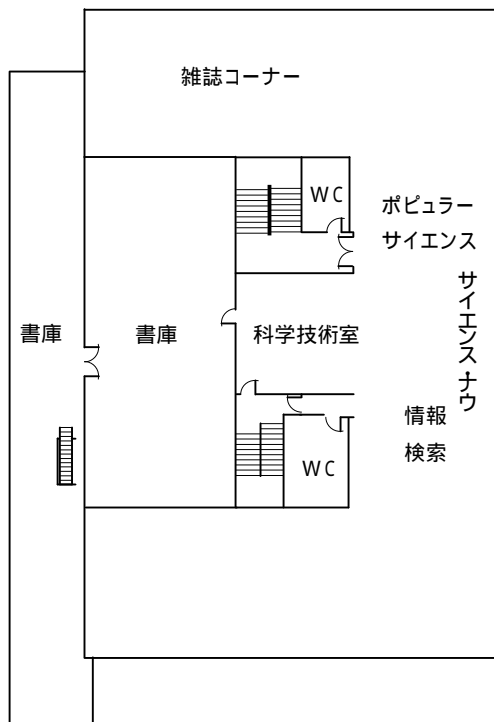
2階



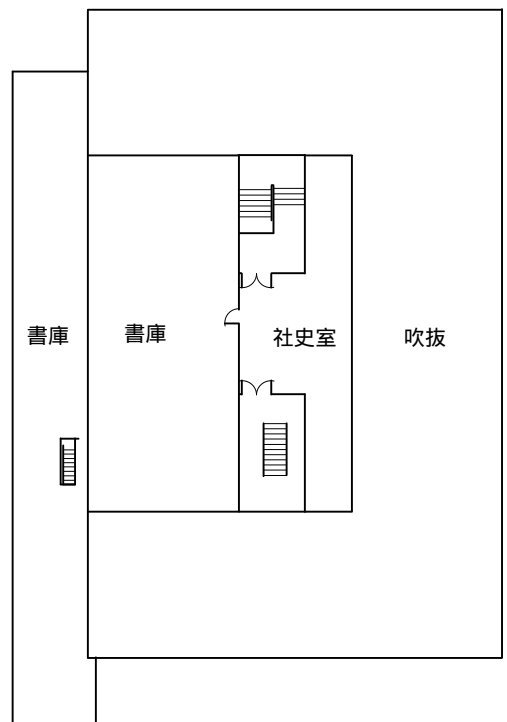
M3階



3階



4階





J R川崎駅・京浜急行京急川崎駅下車 徒歩約15分
 バス 川04系統 市営埠頭行 川10系統 水江町行 他
 教育文化会館前下車

平成27年度神奈川県立川崎図書館要覧
 編集・発行 神奈川県立川崎図書館
 川崎市川崎区富士見2丁目1番4号
 電話 (044) 233 - 4537
 F A X (044) 210 - 1146



神奈川県

神奈川県立川崎図書館

川崎市川崎区富士見2-1-4 〒210-0011 電話(044)233-4537(代表)